

ヤングケアラーへの支援に関する アンケート調査結果報告書 (令和4年6～8月実施)

秋田市子ども未来センター
令和5年3月

調査概要

今年度、秋田市では、秋田市内に潜在化している「ヤングケアラー」を把握し、早期に支援に繋げるため、「ヤングケアラー支援に関するアンケート調査」を実施しましたので、その結果についてまとめました。

本市では、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、以下のような家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもを「ヤングケアラー」としております。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている

出典：厚生労働省HP

1 調査概要

(1) 調査対象者

- ① 市立中学校生徒(全学年) 6,705人
- ② 市立高等学校生徒(美大附属高等学院含む／全学年) 970人
- ③ 支援機関の職員等 874人

(2) 調査期間

令和4年6月から8月末まで

(3) 調査方法

- ①② ID記載式アンケート(タブレット、インターネット又は調査表提出)
- ③ 記名式アンケート

(4) 有効回答率

- ① 市立中学校生徒 83.7%(5,612人/6,705人)
- ② 市立高等学校生徒 94.3%(915人/970人)
- ③ 支援機関の職員等 81.6%(713人/874人)

2 主な調査結果

(1) 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがないと回答した生徒 中学生 52% 高校生 51%

(2) 大人に代わって世話をしている(「ペットの世話」などそぐわない内容は除く)と回答した生徒

① 中学生 4.3%(全国調査:5.7%)240人/5,612人 →1クラスに1.2人(全国調査:1~2人)※1

② 高校生 4.1%(全国調査:4.1%) 38人/ 915人 →1クラスに1.4人(全国調査:1~2人)

⇒ 世話の内容(複数回答あり)

中学生…きょうだいの世話、保育所等の送迎 100人、見守り 70人

高校生…愚痴を聞く、話し相手 14人、

きょうだいの世話、保育所等の送迎 11人

(3) 大人に代わって家事・労働を毎日、又は週4~5日以上行っている

又は大人に代わって世話をしていると回答した生徒

① 中学生 8.9% 502人/5,612人 →1クラスに2.4人 ※2

② 高校生 12.9% 118人/ 915人 →1クラスに4.3人 ※2

⇒ 家事・労働の内容(複数回答あり)

中学生…掃除 434人、食事の準備、料理 308人

高校生…掃除 114人、洗濯 88人

(4) 周りに「ヤングケアラー」にあてはまる人がいると回答した生徒 中学生・高校生共に 1.3%

(5) ヤングケアラーと思われる子どもがいると回答した支援機関の職員等 23人

⇒ ヤングケアラーと思われる子どもの数 38人

※1「全国調査」とは、令和3年3月に行われた「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」をいう。

※2 令和4年度秋田市立中学校・高校の1クラス平均人数(中学校27人、市立高校33人)から算出した。

3 ヤングケアラーの可能性のある生徒

本市調査においては、「2 主な調査結果」の(3)に該当する生徒をヤングケアラーの可能性のある生徒とした。※3

(再掲) ① 中学生 8.9% 502人/5,612人 →1クラスに2.4人

② 高校生 12.9% 118人/ 915人 →1クラスに4.3人

※3 全国調査に比して高い数値となっているのは、抽出基準が異なるためであり、全国調査と同じ抽出基準で集計した数値は、同程度(中学生、高校生とも1クラスに1~2人となっている)。

4 調査項目と回答数

本報告書に示すグラフと、その見方については以下のとおりです。

- ・各設問の回答数は、グラフタイトル中にN=〇と表示します。
- ・各グラフ中、回答数0の選択肢は表示しておりません。

1 生徒向け調査

調査項目		回答数		
			中学生	高校生
「ヤングケアラー」の認知度	「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか	全回答者	5,612	915
	「ヤングケアラー」という言葉をどこで聞いたか			
ケアの状況	大人に代わって行っている家事や労働はあるか	全回答者	5,612	915
	行っている家事や労働は何か	行っている家事や労働があると回答した者	877	211
	家事や労働のことを誰に相談するか			
	家事や労働の頻度			
	大人に代わって行っている世話はあるか	全回答者	5,612	915
	行っている世話は何か	行っている世話があると回答した者	240	38
	世話のことを誰に相談するか			
	世話の頻度			
ケアの影響	現在の健康状態	家事・労働またはお世話をしている、もしくは両方していると回答した者	615	142
	学校や周りの大人に助けてほしいこと、必要としている支援			
	学校の出欠状況			
	遅刻や早退の状況			
	家事、労働、お世話することが原因と思うこと			
「ヤングケアラー」の把握	周りにヤングケアラーはいるか	全回答者	5,612	915
	「いる」と答えた理由	「いる」と回答した者	71	12
	「ヤングケアラー」だと思った人が望んでいる支援			
ヤングケアラーからの相談	「ヤングケアラー」と思われる人から相談を受けた際の対応	全回答者	5,612	915
支援を広げるための施策等	支援を広げていくために必要なことや要望等	全回答者	5,612	915

2 支援機関向け調査

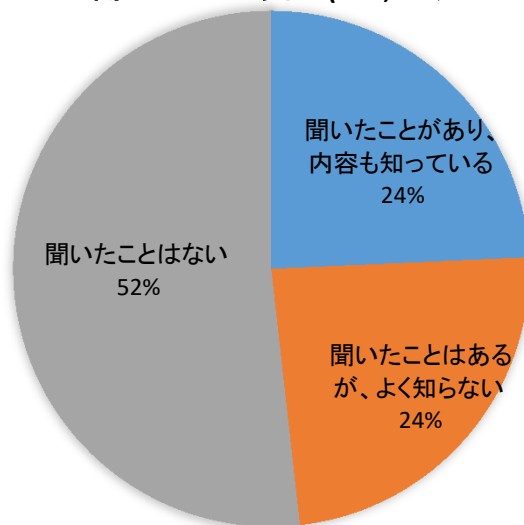
調査項目		回答数	
「ヤングケアラー」の認知度	「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか	全回答者	713
「ヤングケアラー」の把握	「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるか	全回答者	713
	把握している「ヤングケアラー」の数	把握していると回答した者	23
	「ヤングケアラー」を外部の支援に繋いだケースはあるか	把握していると回答した者	23
必要な支援	「ヤングケアラー」を支援するために必要なこと	全回答者	713

調査結果 (中学生)

1 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。1つ選んでください。

- ア 聞いたことがあります、内容も知っている
- イ 聞いたことはあるが、よく知らない
- ウ 聞いたことはない

1 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか(N=5,612)



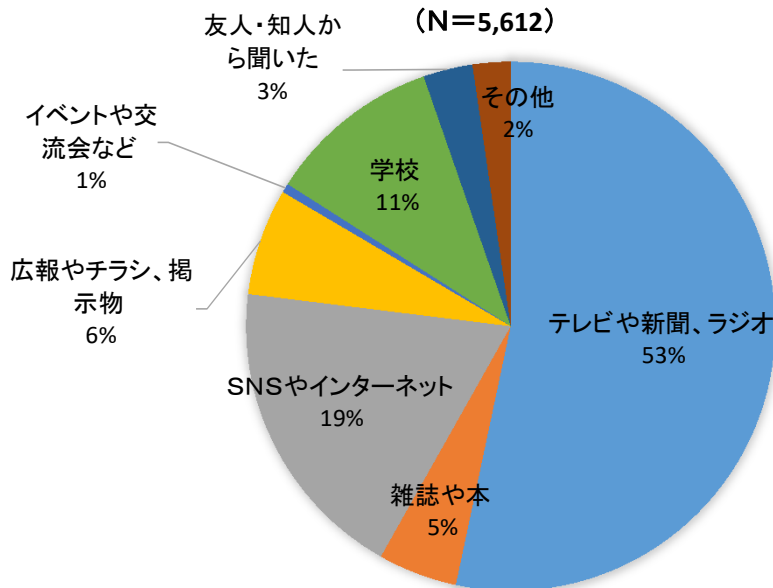
2 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。

あてはまるものをいくつでも選んでください。

- ア テレビや新聞、ラジオ
- イ 雑誌や本
- ウ SNSやインターネット
- エ 広報やチラシ、掲示物
- オ イベントや交流会など
- カ 学校
- キ 友人・知人から聞いた
- ク その他

その他
 ・病院
 ・家族、親
 ・YouTube
 ・親の仕事関係 など

2 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったか (複数回答) (N=5,612)



3 あなたが大人に代わって行っている家事や労働はありますか。

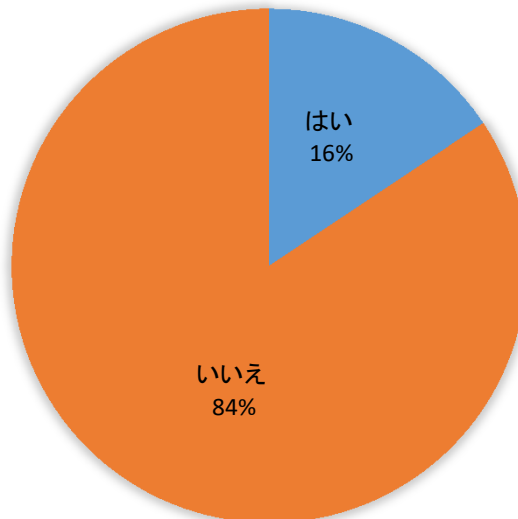
ア はい

→4に進み、続けてアンケートに回答してください。

イ いいえ

→4～6に回答せず、7に進んでください。

3 大人に代わって行っている
家事や労働はあるか(N=5,612)



4 あなたが大人に代わって行っている家事や労働は何ですか。

あてはまるものをいくつでも選んでください。

ア 買い物

イ 食事の準備、料理

ウ 掃除

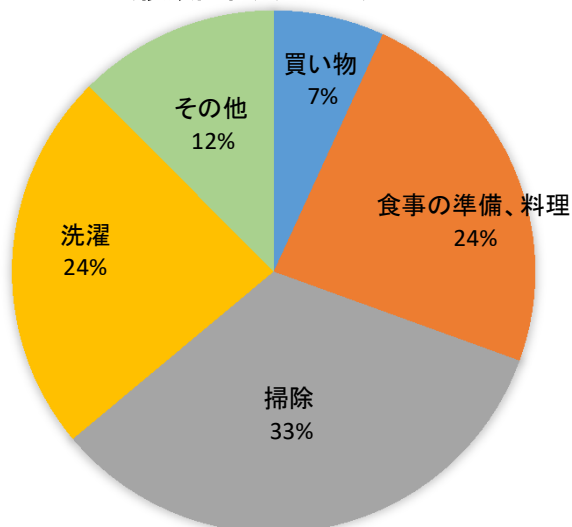
エ 洗濯

オ その他

その他

- ・皿洗い、皿拭き、後片付け
- ・ゴミ出し
- ・雪寄せ
- ・時と場合によって違う など

4 行っている家事や労働は何か
(複数回答)(N=877)

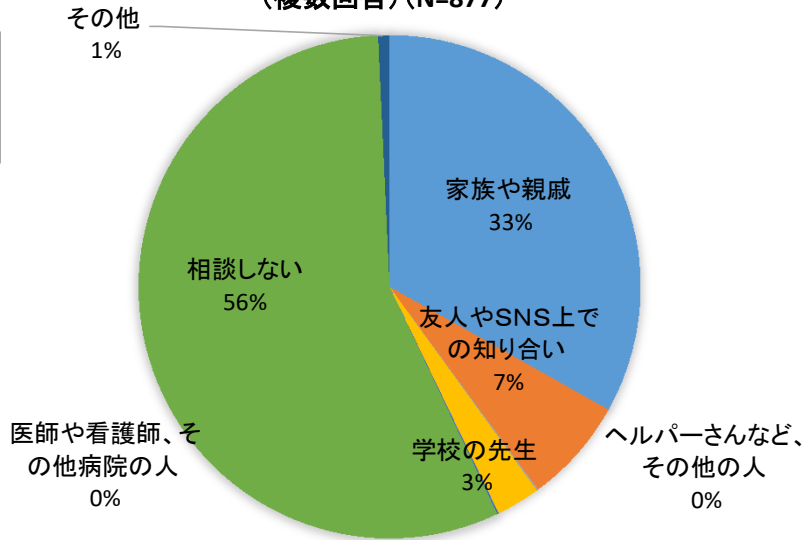


5 家事や労働のことを誰に相談しますか。
 あてはまるものをいくつでも選んでください。

- ア 家族や親戚
- イ 友人やSNS上での知り合い
- ウ 医師や看護師、その他病院の人
- エ 学校の先生
- オ ヘルパーさんなど、その他の人
- カ 相談しない
- キ その他

その他
 ・当番や気分で行っているから
 相談しない など

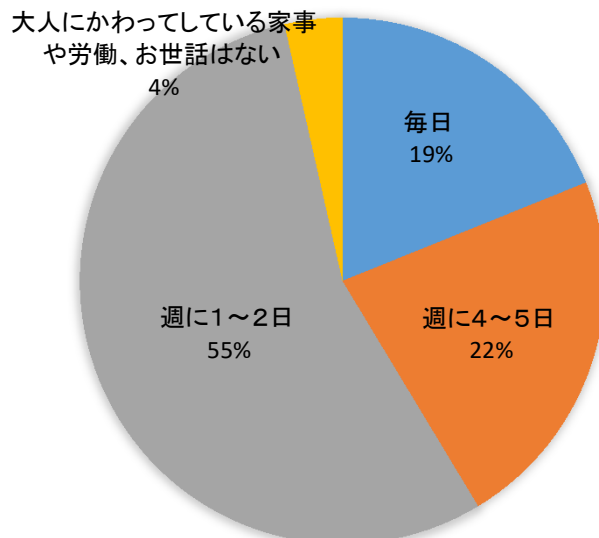
5 家事や労働のことを誰に相談するか
 (複数回答)(N=877)



6 あなたが大人にかわってしている家事や労働合わせてどのくらいありますか。
 もっとも近いものを一つ選んでください。

- ア 毎日
- イ 週に4～5日
- ウ 週に1～2日
- エ 大人にかわってしている家事や労働はない

6 家事や労働は合わせてどのくらいか
 (N=877)



7 あなたが大人に代わって行っている世話はありますか。

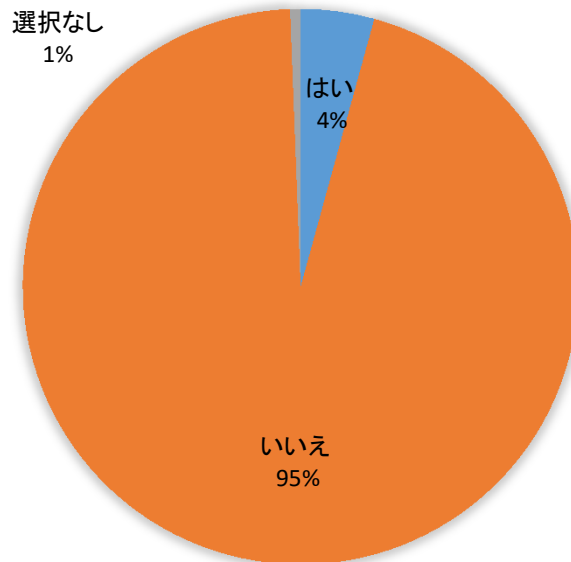
ア はい

→8に進み、続けてアンケートに回答してください。

イ いいえ

→8～15に回答せず、16に進んでください。

7 大人に代わって行っている世話はあるか(N=5,612)



8 あなたが大人に代わって行っている世話は何ですか。

あてはまるものをいくつでも選んでください。

ア きょうだいの世話や保育所等への送迎

イ 入浴やトイレのお世話など

ウ 外出の付き添い

(買い物、散歩など)

エ 通院の付き添い

オ 愚痴を聞く、話し相手になるなど

カ 見守り

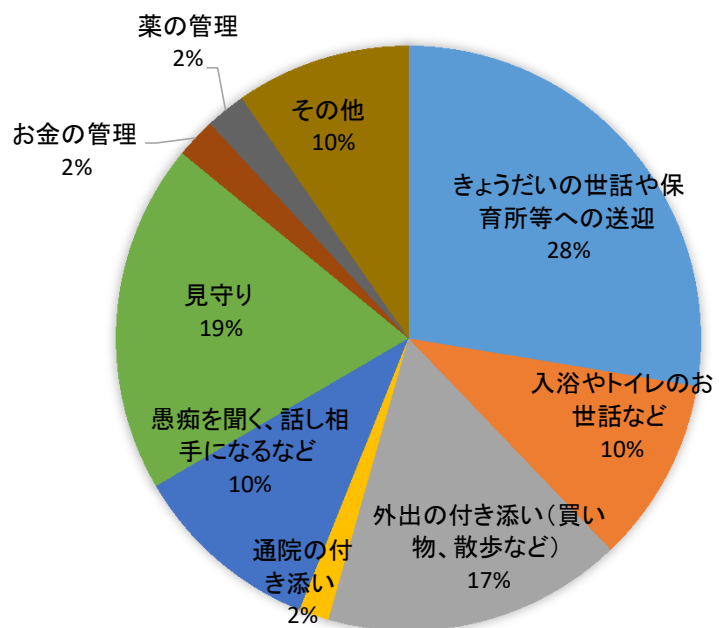
キ 通訳 (日本語や手話など)

ク お金の管理

ケ 薬の管理

コ その他

8 行っている世話は何か(複数回答)(N=240)



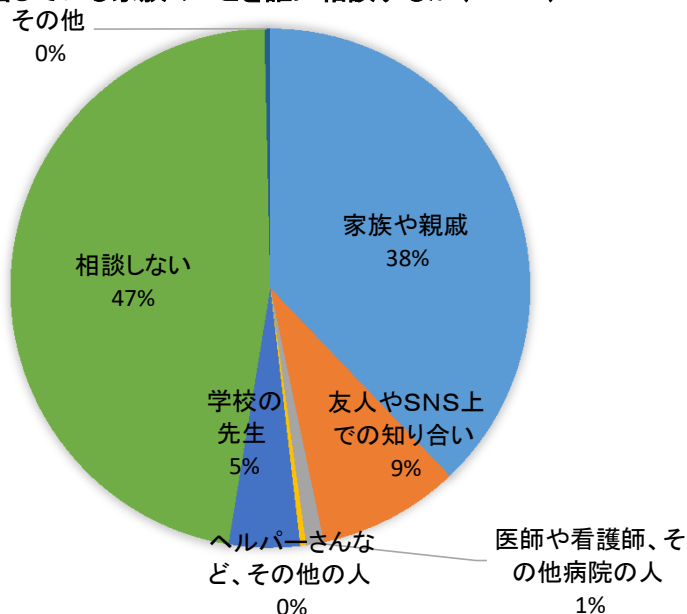
その他

- ・代筆
- ・介護の手伝い
- ・障がい者の介護
- ・ペットの世話。散歩 など

9 お世話している家族のことを誰に相談しますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

- ア 家族や親戚
- イ 友人やSNS上での知り合い
- ウ 医師や看護師、その他病院の人
- エ 学校の先生
- オ ヘルパーさんなど、その他の人
- カ 相談しない
- キ その他

9 お世話している家族のことを誰に相談するか(N=240)

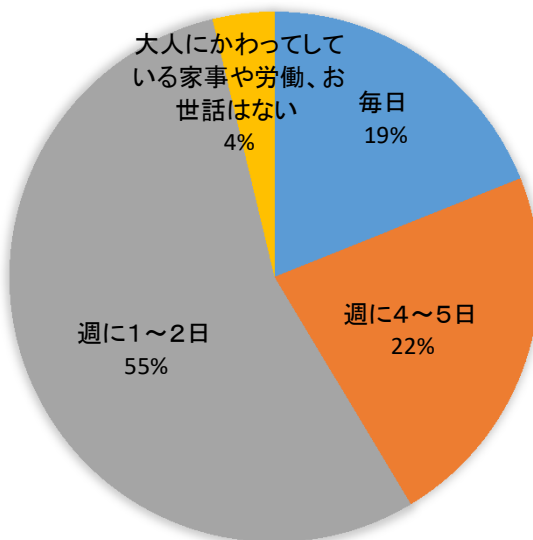


10 あなたが大人にかわってしている世話は合わせてどのくらいありますか。

もっとも近いものを一つ選んでください。

- ア 毎日
- イ 週に4～5日
- ウ 週に1～2日
- エ 大人にかわってしている世話はない

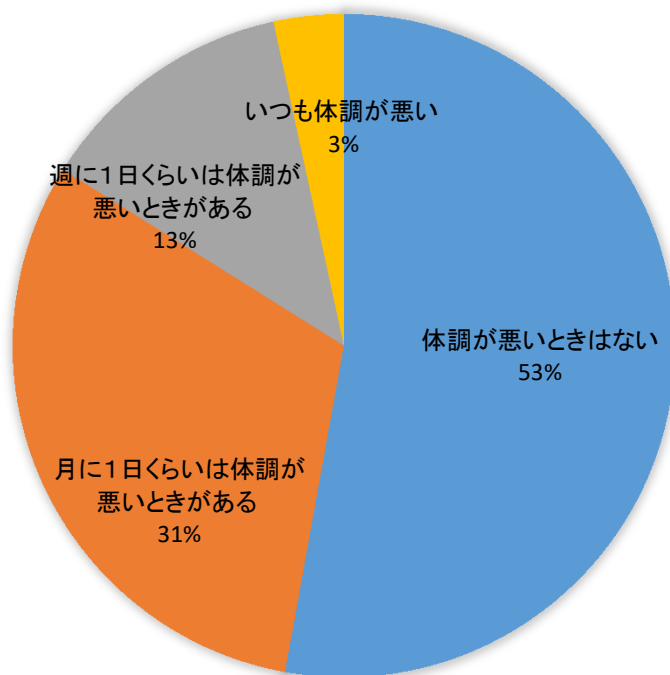
10 世話は合わせてどのくらいか(N=240)



11 あなたの現在の健康状態について、一つ選んでください。

- ア 体調が悪いときはない
- イ 月に1日くらいは
体調が悪いときがある
- ウ 週に1日くらいは
体調が悪いときがある
- エ いつも体調が悪い

11 現在の健康状態
(大人に代わって家事、労働、お世話している生徒) (N=615)

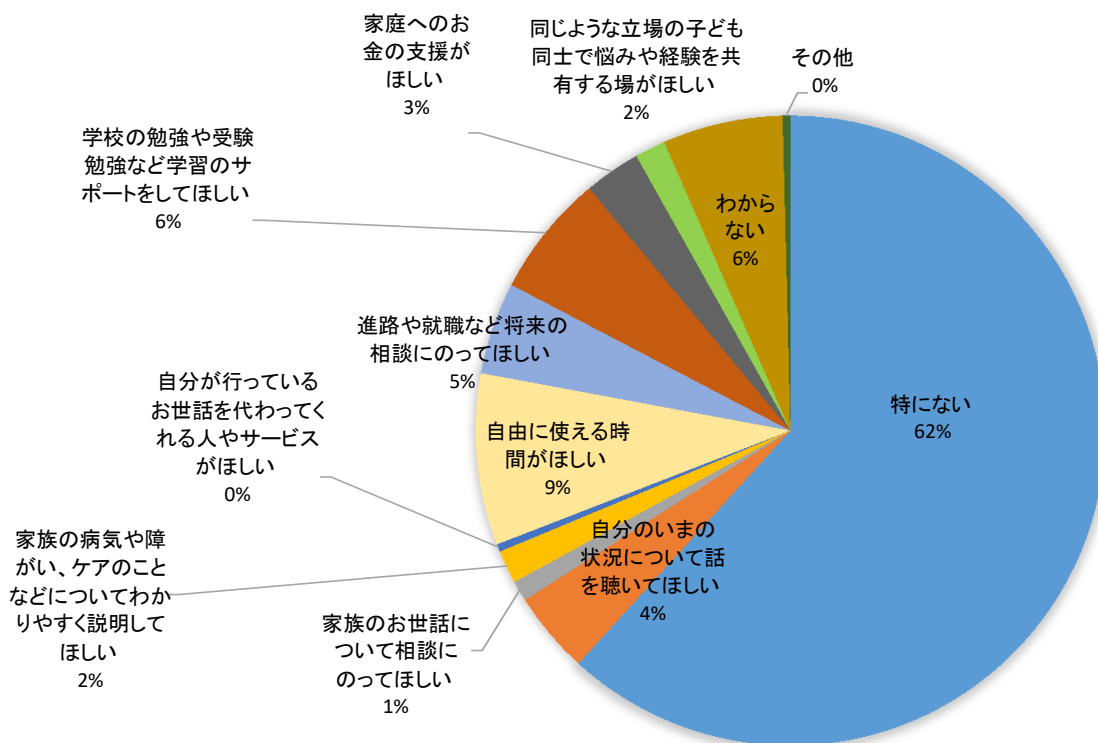


12 学校や周りの大人に助けてほしいこと、必要としている支援は何ですか。

あてはまるものをいくつでも選んでください。

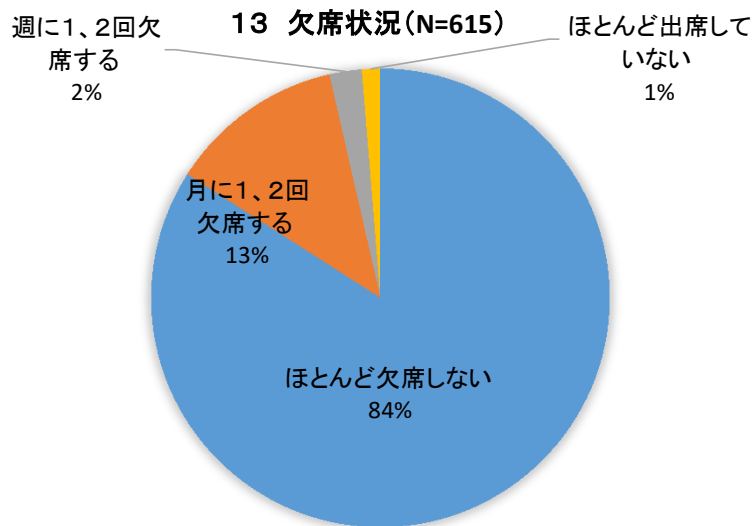
- ア 特にない
- イ 自分のいまの状況について話を聴いてほしい
- ウ 家族のお世話について相談にのってほしい
- エ 家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい
- オ 自分が行っているお世話を代わってくれる人やサービスがほしい
- カ 自由に使える時間がほしい
- キ 進路や就職など将来の相談にのってほしい
- ク 学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい
- ケ 家庭へのお金の支援がほしい
- コ 同じような立場の子ども同士で悩みや経験を共有する場がほしい
- サ わからない
- シ その他

12 大人に助けてほしいこと、必要としている支援(複数回答)(N=615)



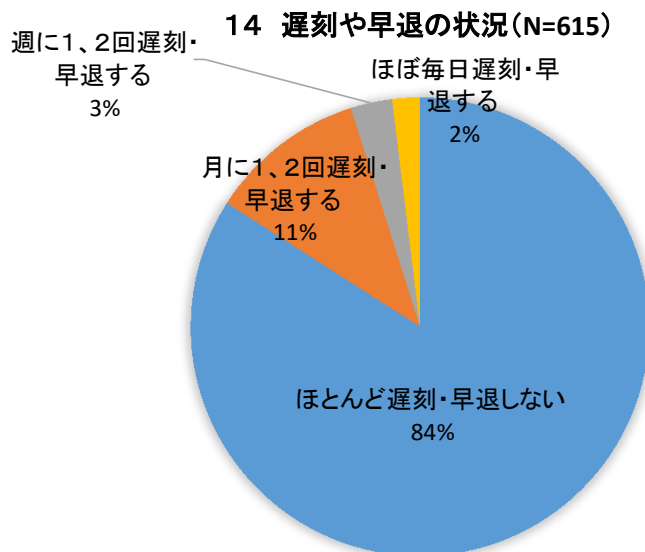
13 あなたは、学校をどのくらい欠席することがありますか。
 あなたの状況にもっとも近いものを1つ選んでください。

- ア ほとんど欠席しない
- イ 月に1、2回欠席する
- ウ 週に1、2回欠席する
- エ ほとんど欠席していない



14 あなたは、学校で遅刻や早退することはありますか。
 あなたの状況にもっとも近いものを1つ選んでください。

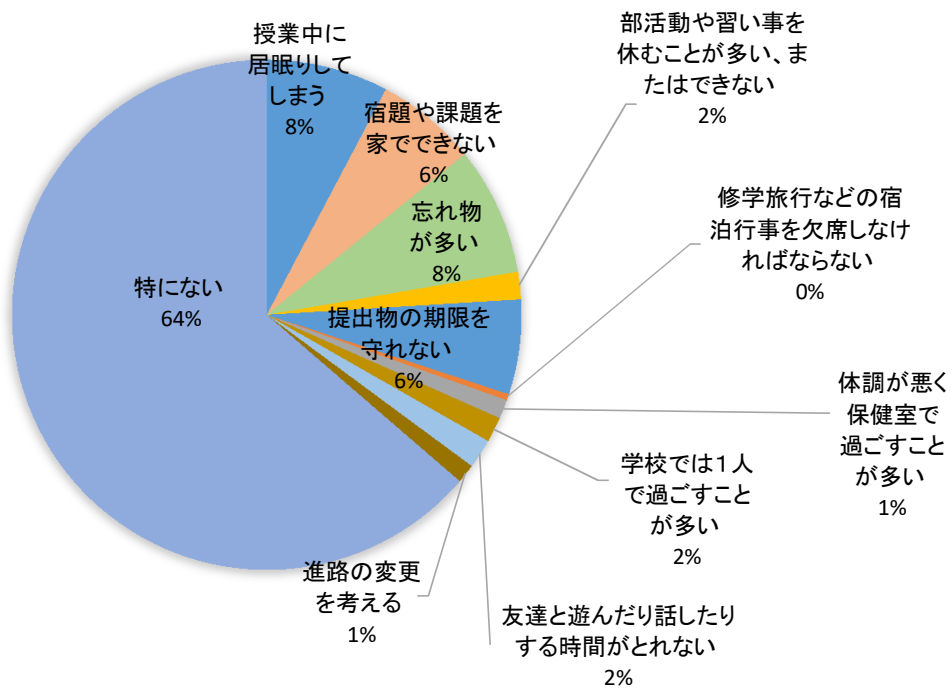
- ア ほとんど遅刻・早退しない
- イ 月に1、2回遅刻・早退する
- ウ 週に1、2回遅刻・早退する
- エ ほぼ毎日遅刻・早退する



15 あなた自身の学校生活において、家事、労働、お世話をするのが原因だと思うものが以下の項目にありますか。いくつ選んでもかまいません。

- ア 授業中に居眠りしてしまう
- イ 宿題や課題を家でできない
- ウ 忘れ物が多い
- エ 部活動や習い事を休むことが多い、またはできない
- オ 提出物の期限を守れない
- カ 修学旅行などの宿泊行事を欠席しなければならない
- キ 体調が悪く保健室で過ごすことが多い
- ク 学校では1人で過ごすことが多い
- ケ 友達と遊んだり話したりする時間がとれない
- コ 進路の変更を考える
- サ 特にない

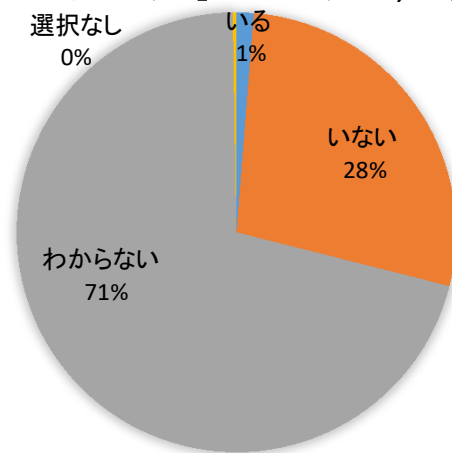
15 家事、労働、お世話することが原因と思うもの(複数回答)(N=615)



16 あなたの周りに「ヤングケアラー」にあてはまる人はいますか。

- ア いる
- イ いない
- ウ わからない

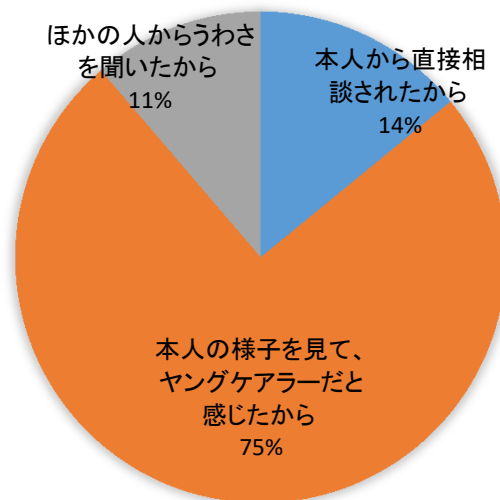
16 周りに「ヤングケアラー」はいるか(N=5,612)



17 「いる」と答えた理由はなんですか。1つ答えてください。

- ア 本人から直接相談されたから
- イ 本人の様子を見て、ヤングケアラーだと感じたから
- ウ ほかに人からうわさを聞いたから

17 「いる」と答えた理由(N=71)

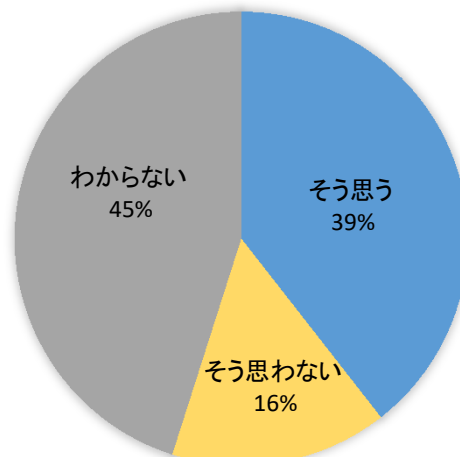


18 あなたが「ヤングケアラー」だと思った人について聞きます。

その人は、必要な支援が受けられていると思いますか。1つ選んでください。

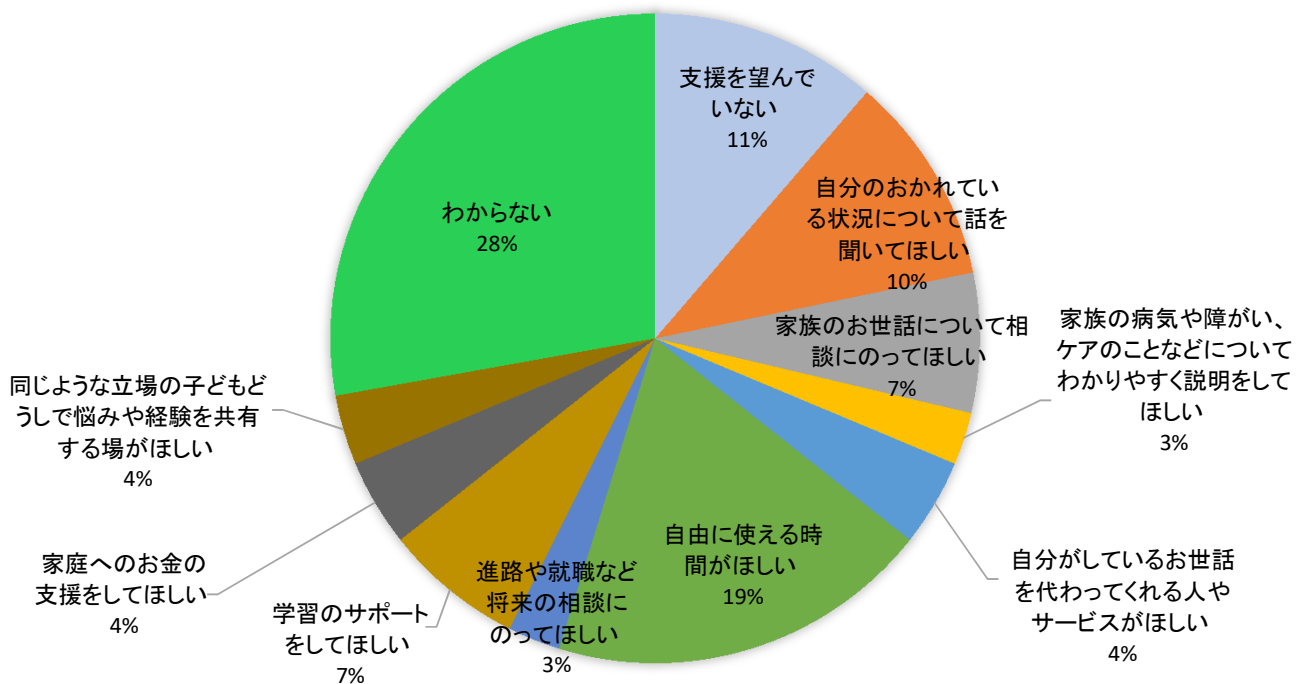
- ア そう思う
- イ そう思わない
- ウ わからない

18 ヤングケアラーだと思った人は必要な支援が受けられているか(N=71)



- 19 あなたが「ヤングケアラー」だと思った人は、どんな支援を望んでいると思いますか。
 あてはまるものをすべて選んでください。
- ア 支援を望んでいない
 - イ 自分のおかれている状況について話を聞いてほしい
 - ウ 家族のお世話について相談にのってほしい
 - エ 家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい
 - オ 自分がしているお世話を代わってくれる人やサービスがほしい
 - カ 自由に使える時間がほしい
 - キ 進路や就職など将来の相談にのってほしい
 - ク 学習のサポートをしてほしい
 - ケ 家庭へのお金の支援をしてほしい
 - コ 同じような立場の子どもどうして悩みや経験を共有する場がほしい
 - サ わからない
 - シ その他

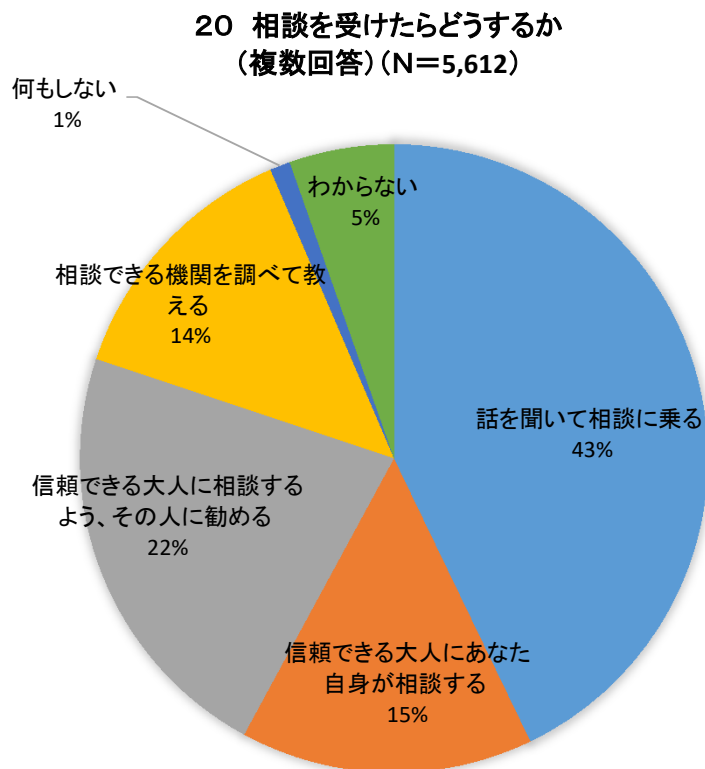
19 ヤングケアラーだと思った人がどんな支援を望んでいると思うか
 (複数回答)(N=71)



20 「ヤングケアラー」と思われる人から相談を受けたら、どうしますか。

あてはまるものを選んでください。(いくつでも)

- ア 話を聞いて相談に乗る
- イ 信頼できる大人にあなた自身が相談する
- ウ 信頼できる大人に相談するよう、その人に勧める
- エ 相談できる機関を調べて教える
- オ 何もしない
- カ わからない



21 ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要なことや要望等があれば記入してください。
(自由記載) 注)回答のあった原文のまま掲載しています。

周知啓発		
「ヤングケアラー」を広く知ってもらおう	もっと広める	
	理解促進	
	学校の取組	
	テレビ、CM、新聞	
	ポスター	
	ネット	
	具体的な周知方法	
	その他	
	もっと広める	ヤングケアラーという実態が今あるということを、なるべく沢山のの人に知ってもらい、身の回りにまず当てはまる人がいないか、知ること。 ヤングケアラーの現状を知ってもらう ヤングケアラーの認知度を上げる ヤングケアラーについてをもっとよく知ってもらい、ヤングケアラーを全体で支えていく事が重要だと思う ヤングケアラーのことにしてもっとみんなに知ってもらう ヤングケアラーについて多くの人もっと知られることが大切だと思います。自覚のないまま当たり前になることがなくなり、信頼できる場を作れるといいと思います。 周りの人が話を聞いてあげたり、こんなに大変なことをしている子供もいるということをみんなが知ること
	理解促進	いろんな人知ってもらって、たくさんの人に理解してもらう。 ヤングケアラーの人が周りにいても、気がつきにくいのではないかと、思いました。そうして自分の事を我慢してつらい思いをしている人がいることはとても見過ごせません。大切なのは、普段から気に掛ける、相談に乗るなどの「行動に移す」ことだと思います。また、私はヤングケアラーについて知りませんでした。私と同じような人も多いと思います。もっと広めるべきだと思うし、少しでもヤングケアラーの人の負担が減るといいと思います。 ヤングケアラーについて知る機会を増やす。 CMなどで見るとヤングケアラーは、表面では分かりづらいと思った。だから、見つける方法と、してあげるとよいことを教えてください。 私自身「ヤングケアラー」という言葉を初めて聞いたのでヤングケアラーについてのお話をもう少し聞きたいです ヤングケアラーについて詳しく知ることができる機会を作してほしい。 私たちもヤングケアラーについての理解と支援のしかたを考えていく事が大切なのではないかと思います。 自分の周りにもヤングケアラーがいるかもしれないと、理解を深めていくことが大切だと思います。 一般にあまり広がっているものではないので、どこからがヤングケアラーなのかを明確にして、もっと広めていかなければならないと思う。 一人一人がヤングケアラーについてしっかりと理解すること
	学校の取組	学校の道徳の時間等にヤングケアラーについて学習する時間が欲しい。 学校でのポスター作り。 学校やネット広告などでこのことをもっと広める 授業でヤングケアラーについて学ぶ機会を作してほしい。 ヤングケアラーはどのようなものか学ぶ機会を作してほしい 学校でももう少し触れてもいいと思う 小学校や中学校、高校などでヤングケアラーについての授業をしたらいいとおもいます。
	テレビ、CM、新聞	TVC Mなどで呼びかけたり若い人のSNSなどでの発信などが大事だと思う。 自分自身もcm知ったので、テレビなどでこういった情報も発信していくべき。 acジャパンと協力してもっと大々的にシーエムなどで情報を発信すればいいと思う もっとヤングケアラーについてテレビなどで知らせたほうがいいと思う。 もっとヤングケアラーの認知度を高めるために広告を増やす ニュースなどで紹介する テレビやSNSなどでヤングケアラーのことをみんなに分かりやすく発信すればいいと思います。 もっといろんな人にヤングケアラーを知ってもらうために、若い人が見るようなテレビや雑誌などでもこういう情報を伝えていくべきだと思う。 もう少しヤングケアラーに関わるニュースやCM、新聞を積極的に掲載してほしい。そうすることで日本全体でヤングケアラーの関心が高まると思う。
	ポスター	新聞に載せる 私も詳しくはわからないので、新聞やテレビなどで広めていってほしい ポスターを作りみんなが見えるところに掲示する ポスター掲示 標語 チラシやYouTubeなどの広告で促す インターネットでヤングケアラーの情報を広めて世間に知ってもらう 日本で起きている身近なもんだいをインフルエンサーに、発信してもらう
	ネット	SNSを有効に使う SNSやインターネットなどでたくさん宣伝する SNSでの正しい情報の共有 SNSなどにヤングケアラーの一日などを上げればいいと思う
	具体的な周知方法	Twitterなどを利用して、ヤングケアラーについて広める YouTubeなどの広告を使えばいいと思います S Tik Tokなどの今どきのものでいろんな人の目につきやすくする 冊子にして渡してもあまり読まないと思うのでチケットブック等のショートムービーにしてアップするとよいと思います
その他	人々の協力や、支援などを呼びかける ヤングケアラーについて知るためのイベントや講話などを開催してほしい。 広告だけではなく、もっとヤングケアラーを知ってもらうためにイベントをもっと開いたらいいと思います。 本や雑誌で伝える ヤングケアラーについての本を出す。 SDGsのように大々的に報道をする。 世界問題にして話し合う 地域の人と一緒に広める お母さんとお父さんに知ってもらう	

アンケート	
見込まれる効果	こういったアンケートなどを取って少しでも話を聞いてあげる
	このように、アンケートを取って困っている子供を助けてあげる
	自治でアンケートをしたりして実態を詳しく調査する
	このような、調査でヤングケアラーが少しでも、気が楽になるといいなと思いました。
	こうしたアンケートを実施するなどして周りに相談しやすい環境作りが必要だと思う。
	人間の心理として、自分がヤングケアラーに該当する人であってもなかなか言い出せない人が多いと思うので、いじめ等に関するアンケートのように、定期的に調査をすることが必要なように感じた。
	頻繁にアンケートなどを取り、現在の状況をたくさんの人に知ってもらおう。
	今どれくらいヤングケアラーがいるかの確認をする。
	このようなアンケート調査などを増やしてたくさんの人にヤングケアラーを知ってもらえば支援が広がると思います。
	このような調査を広めて、早く気付けるようにする。
定期的な実施	悩みがないかなど定期的にアンケート調査を行うことが大切だと思う。
	1年に1回はアンケートをやったら良いんじゃないかと思う
	アンケート調査を定期的にする。
	この様なアンケート調査をたくさん実施することが大切
	定期的にこのようなアンケートをとると、ヤングケアラーが減らせると思います。
	定期的に学校でアンケートを取る
	定期的に調査をし、声をかけることが大切だと思います。
	定期的にアンケートを取って、家庭環境を調査する。
	家事や労働、介護によって学業をあきらめてしまう生徒が多い 頻繁に声をかけたりして、学校に相談できる機会を整えることや、定期的にこのようなアンケートをするべきだと思います。
	このようなアンケート調査をもっとする。
回数が増	学校でのヤングケアラー調査を頻繁にし、生徒たちに定着させること
	ヤングケアラーである人を早く助けるためにアンケートや面談などを多く実施する
	いまやっているアンケートのようなものをなるべく多くやれば、ヤングケアラーを見つけれると思いました。
	アンケートの数をもっと増やしたほうがいい(一年に4回)
	そういう機関に相談するのは勇気があることだと思うので、学校で積極的にこういうアンケート調査をやればいとおもう
こういうアンケートをもっと増やすべきだと思う。	
対象の拡大	大人にもアンケートをとる。
	大人も会社で調査する。
	高齢者などの被支援者だけに国からの支援もするのではなく支援者にも行うべき。また、子供だけに質問すると客観的に見たらヤングケアラーでもわかってない人も多いと思われるので保護者や子供の周りの大人などにもこのようなアンケートを実施しがいたほうがいいと思います
	毎年、子供がいるすべての家庭で調査を実施する。(アンケート形式で)
	もう少し子供全体に質問したほうがいいと思う。
	アンケートを小学校でも実施する 各家庭にもこのようなアンケートを行うといいと思う。
実施	この調査を継続していく
	ヤングケアラーの言葉は、知っているけど、僕はやっていないからわからないけど、中にはこーゆう人もいるかもしれないから、こーゆう調査は大事だと思います!
	こういったアンケートなどを実施して、一人でも悩んでいる人の気持ちを聞く
	このような実態を調査してそこから金銭的な支援と介護的な支援をするべきだと思う
	このようなアンケートを多く行い、もしいたり、それっぽかったらサポートしてあげる必要がある。 こういうアンケートを行うことが大切だと思います。
必要なこと	
自分たちができること	その子に少しでも楽になるように環境にしてあげる
	もし身の回りにヤングケアラーがいたらできる限りのことはしてあげたいと思った
	自分も何かできるか考えてみる。
	家族などのお世話で、学校に行けていない子供たちのことも考えて何かできることがないか日ごろから考えていくことが大切だと思う。
	ヤングケアラーの人を探して相談に乗ってその人の気持ちを楽にして自分ができるところでそのひとのために尽くして安心して生活が送れるようにする。
	ヤングケアラーの普通の子達とは違い、家族を支えながら過ごしています。周りにヤングケアラーをしている子がいたら、優しく接してあげたり、仲良くしてあげたり、相談に乗ってあげたりなどが大切だと思います。
	知り合いや、友人にヤングケアラーがいたら大人に相談することをおすすめしたり、自分がお父さんや、お母さんにその子のことを相談する。
	気づかないうちに身近でヤングケアラーになっている人がいるかもしれないので、もしそういう人を見かけたら誰かに相談する必要がある。
	相手にアドバイスをする。
	調べたりしこうすればいいと覚える
	福祉などの資格を取る
	自分から支援に参加する。

必要なこと	
自分たち にできること	思いやりが必要だと思う
	相手のことを考える
	周りに気を配る
	その人がヤングケアラーだと周りも理解する
	大人や友達が声をかけたりそばにいてあげることが必要だと思う。
	学校などで関わるときに無理をさせない。また、サポートをして、困らせないようにする。
	身近に似たような大変そうな人がいたら、ヤングケアラーのことを教えてあげたりなどをする。
	身のまわりにヤングケアラーの方がいたら、相談できるように寄り添ってあげられるようにしたいと思います。
	支援を広げていくために、自分の周りに悩んでいる人がいたら、相談にのってあげたり、解決方法などを一緒に考えてあげたりする。
	その人の気持ちを分かってあげること
	まず人と仲良くなることが大切
	差別をしない
	偏見を減らす
	ヤングケアラーが原因のいじめや差別をなくす
	子供に仕事を任せない。
	子供は勉強が本文だから、介護職などの大人が変わってやるべきだと思う。
	困っていたら手伝ってあげたり、みんなで助けてあげるといいと思う
	地域の人も進んで手伝いこいけばいいと思います。
	身近にいたら支援すること
	見かけたら声をかけて手伝いをする
	お互いに助け合うことが大切
	助け合いの社会
	周りの人が手を差し伸べる事
	周りの人(先生、近所の人)が支えてあげる
	出来る限りのサポートをすることが大切だと思う。
まずは、小さい手伝いからみんながやるとヤングケアラーへの支援が広がるとおもう。	
チラシや掲示板で支援を求める	
実際にヤングケアラーで困っている人は、今の自分の状況をはっきり信頼できる人に伝えて、ほかの人は相談されたら、しっかり協力して少しでもその人の状況が改善されるように心がけること。	
大変なことが多いと思うけど、できる限り手伝ってあげたいし、支援に関わっていきたく思った。周りに知らない人がいたら、こういう人がいると教えるべきだと思う。	
普段の生活から異変に気付く	
周りの人達が気づいてあげることが大切だと思う。	
地域の大人の目を光らせていくことが大事だと思う。	
ヤングケアラーに周りの人が早く気付いたり、本人のことを周りが理解することが大切だと思います。	
ヤングケアラーの人がいたら見て見ぬふりをしない	
そのような人を見つけたら、迅速な対応をする	
話を聞いて相談に乗る	
ヤングケアラーに困っている子供がいたら相談に乗って、その後も見守る	
相談されたら乗ってあげる	
周りにヤングケアラーで困っている人がいたら進んで相談に乗りたいです。	
もしクラスにヤングケアラーの人がいたらしっかり相談に乗ってあげたい	
なんでも相談にのってあげる	
もし、ヤングケアラーの人がいたら、相談に乗ってあげて少しでも心を軽くさせてあげたい。	
困っている人を見つけたら相談にのる	
身近にいないとは限らないので常に友達が困っている時には相談に乗る	
周りの人たちの小さな声をしっかりと聞いてあげること。	
ヤングケアラーが身近にいると思ったときは声をかけてあげることが必要だと思いました。	
相談を受けた場合親に教えず子供に寄り添う	
話を聞いて頼れる人と一緒に相談を聞く	
まずは、相談に乗る。そして、大人に相談する。	
相談されたときはちゃんと相談に乗り、よく話を聞いて、少しでも負担を減らすにはどうすればいいのかを一緒に考える。	
一人一人の意見に耳を傾ける	
相談することが大切	
誰でもいいから相談する	
信頼できる人に相談する	
ちゃんと人に相談する	
気軽に相談できる人に、相談する。気軽に相談できる人をつくる	
ヤングケアラーの人が自ら周りの人に困っていることを相談する。	
大人に相談したり友達に話すことが大事	
その人自身が勇気をもって相談することが必要	
ヤングケアラーをしている人は一人で抱え込まないで周りの人、頼れる人(先生、友達など)に相談する。相談しづらい場合は保護センターなどを探してそこに試しに行ってみる。	
悩み事は一人で抱えないで、相談することが大事！	
特にありません。でもヤングケアラーの人が友達の中にいたら、何でもいから相談してほしいです。	
もし、ヤングケアラーで悩んでいたら、一人で抱え込まないで遠慮せずに信頼できる人などに相談してみてください。きっと生活がいい方向に変わってくるはずです。	

必要なこと		
当事者が できること	一人で抱え込まず信頼できる人に相談する	
	1人で全部やろうと思わないで、みんなに助けをもらいながら行う事が大切だと思う	
	ヤングケアラーの人たちは一人でやろうとしないで、周りの大人や仲のいい人に相談することが必要だと思う	
	ヤングケアラーであることを隠している人にもし気がついたら、一人ではないことを伝える。	
	自分の家族だからといって一人で抱え込まない	
	子供だけが苦勞するのではなく、大人やほかに支援をしてくれる人を増やしたほうがいいと思います。	
	子どもだけでなく色々な人が関わって行くことが大切だと思います。	
	子供一人でも大変だからみんなが手伝って欲しいです。障害を持っている人たちも大変なのは分かるけど、手伝える範囲で手伝っていきたいです。	
	一人で世話をするのではなく、周りの人もできる限りのことをして負担を一人が背負うのではなくみんなで負	
	一人じゃ出来ないことはたくさんあります。なのでみんなでできないことを、認め合い手伝いあつていくこと	
	その人ばかりに負担を負わせない	
	周りに頼り 人に相談する	
	もつとまわりを信頼する	
	ならなきゃならないのであれば一人でやるのではなく、だれかと一緒にやる。ヤングケアラーの子には、大人と一緒にやる。	
	当事者が できること	視野を広げる
家庭の状況や誰が家事をするかを見直すと良いと思います		
いろいろな人の意見を受け入れる。		
明日への希望をなくさない		
期待しすぎない		
友達を作る		
協調性をもつ		
助けを求める		
色々学べばよい		
相談窓口の 設置		気軽に相談できる場所があればいいと思います。
		簡単に話せる人はいないと思うので、気軽に相談できる場所をもつと増やしたほうがいいと思いました。
		誰でも気軽に相談できる窓口をこれからも設置することが必要だと思います。
		相談窓口を設ける
		ヤングケアラーをしている子たちの相談できる場所を作る、増やす。
		ヤングケアラーの人たちのために、相談窓口とかを作って、しっかりと相談にのればいいと思う。
	ヤングケアラーの人が気軽に話せるところをつくれれば良いと思います	
	子供が安心して相談できる場所をもつと増えてほしい	
	小さな子供でも相談しやすい場所をつくる	
	人に言うことができないと思うので、相談しやすい場所などを作ったり、相談会など開いてもいいんじゃないかなと思う	
	相談、対応できる機関を増やすこと	
	相談センターに行きやすくする環境を作ること。	
	カウンセリングや支援するボランティアの方々を増やしたほうが良いと思います	
	具 体 の 支 援	相談しやすい環境を整える
		困っている人が話しやすい環境を作る
話しやすい環境を作る		
ヤングケアラーが減るようにいつでも相談できる環境を作る。		
ヤングケアラーの人たちが相談できるような活動を行う		
相談できるような環境を作ったり、相談できるような人を増やすことで、ヤングケアラーの人たちも安心して相談できると思います。		
ヤングケアラーが信頼できる大人に相談しやすい環境を作る		
私自身がヤングケアラーではないのですが、相談できる環境が必要ではないのかなーと思いました。(snsとか)		
大体の人は、相談せずに我慢して苦しんでいる人がいっぱいいると思います。だから気軽に相談のできる環境が必要だと思いました。		
話しやすい世の中にする		
相談できるきっかけを、作る		
電話相談できる環境を作ること		
悩みを気軽に話せる人がいることが必要。		
相談 機関 の 周 知		相談機関を広める
		相談できる機関をもつと広告する
	頼れる機関の宣伝を行う	
	広告などで宣伝をしたら相談してくる人が増えると思います	
	ヤングケアラーの子供たちの目に入るようにポスターとかに電話番号など記載されたものをあげれば良いとおもいます。	
	どんなところに相談できるのかがわかること。	
	簡単に相談できる所をもつと多くの人に広められるように色々な方法で知らせる。	
お便りなどで電話番号などを知らせておいて、いつでも電話できるようにすればいいと思う。		
話しやすい環境を各々の場で作れるように心がける。ヤングケアラーのことについて広告などをより増やし広く知ってもらおう。		

必要なこと	
行政の支援	国からの支援を手厚くする 政府がNPO法人やヤングケアラーなどの相談機関を増やしたり、ヤングケアラーの実態などをSNSなどのインターネットサイトに上げてより多くの人にヤングケアラーはこんな感じの人なんだよというのを多く発信してい
	内閣や国会でこの話を出して、ヤングケアラーについて議論して欲しい。やらなかったら、自民党に裁判をかけた位やってほしい。もしくは、野党一丸となって議論を進めてもいいと思う。
	政府や機関がサポートする必要がある
	自治体が積極的に支援をする。
	自治体ごとに調査し、ヤングケアラーへ補助活動(介護士などの派遣など)を行ってほしい
	県や国が支援・政策を進める
	行政による丁寧な対応(過ぎにくさを感じさせないなど)
	自民党にお願いしてください岸田総理に言ってくださいそのための税金でしよ
	その有り余った税金で大人を助けてあげたらいいと思います。
	人口を増やしたほうがいいと思います。
	障がい者や高齢者への介護サービスを充実させるとよいと思う。
	ヤングケアラーの人のために介護などをほぼ無料でやってくれるサービスなどをつくれればよいと思う
	要望した日から支援を受けられる
	介護サービスをこれまで以上に充実させる。
ヤングケアラーの手伝いをするのが専門の仕事(ボランティア)を増やしていけばいいと思う	
介護支援専門員に見てもら	
介護士などをヤングケアラーに家に派遣するとよいと思います。	
ボランティアの介護の人がいればいいと思う	
介護職への給料引き上げなどをして専門の人がケアをできる社会を構築すること	
障害者や老人などを看病することが支援を広げていくことにつながると思います。	
国が補助金を出してそのための施設などを作ったりすればいいと思います	
介護施設や老人ホームを増やし、無料または安い値段にしたほうがヤングケアラーへの負担が少しでも減ると思いました。	
老人や障害者が快適に利用できる機関を増やす。	
老人ホームや介護施設を増やす	
障害や病気のある人たちが居られる施設などを増やしたりそういうところがあること広めたり知らせる。	
病気や、障害のある人たち専用の施設を作る。老人ホームで働く人を増やす。老人ホームに入るとき、入った後の料金を安くする。ヤングケアラーの人が望む場合、家族または親戚の障害を持つ人と離れて暮らす。	
障害者支援施設を増やす。	
周りの環境が悪い人達に対する施設など。	
児童養護施設を増やす	
もっと頼れる機関を増やした方がいいと思う。	
専用の窓口を作る	
そういうヤングケアラーをサポートしたり相談するところがあればよいと思う。(多分)	
ヤングケアラー専用の相談施設などの心の支えになるような施設や建物を建設などをしたらいいと思う。	
ヤングケアラーの人専用の相談施設を多く設ける	
ヤングケアラーを支援するための施設を設置する	
ヤングケアラーさんの自分自身の時間も確保できるように、その家族を世話してくれる施設や仕事を設ける。	
ヤングケアラーには介護施設を無償で使わせるべき。	
その人のための学校、施設を作る	
老人ホームのような若い人も入れるような施設をつくる	
コールセンターを用意する	
ヤングケアラーの人を助ける仕事・職業を作る、環境を整えるなど	
学生のヤングケアラーの申請書を作り、その人への負担を減らす活動をしてほしい。	
不自由なく暮らせる居場所だったり、普通の学校に通うことのできる環境、家族の問題をしっかりと聞いてしっかりと対応することのできる機関を作る。	
家事代行サービス	
家政婦をボランティアとする。	
家政婦を雇う	
ヘルパーなどが増えればいいと思う。	
家事をしてくれる職業を作ればいいと思う	
家の家事をしてくれる人を探したり、介護施設に無料で入れる制度を作れば良いと思う	
オンライン	ヤングケアラー同士の会を開くといいと思います。
ヤングケアラーを集めて、どう自分のことと家のこととをやりくりすればいいかを話し合い機会を設置する	
ヤングケアラーどうしの集まりを作ってみる。	
ヤングケアラーの人たち同士の交流場を作る	
自分がヤングケアラーだと気付いていない人も多いと思うし、気づいても大人に相談したくない人もいます。だから同年代の同じような状況の人と話し合う機会があればいいのかなと思いました。	
月に一度くらいヤングケアラーの人たちが集まって、ストレス発散会を開く 等	
オンライン	そうゆう会を開いて欲しい。週に1、2回くらい
国民からの募金・寄付	募金活動
	募金等の支援物資等の支給の増加
	できることが、あるなら募金をする。
	寄付を募集してみる
	お金を寄付したりする。
	コロナ禍のときみたいにお金を寄付する
18歳未満の子達に寄付金、募金などをして少しでも楽をさせてあげる。	

必要なこと	
国等からの資金援助	ヤングケアラーに給付金
	国の無駄な支出を減らして、子供に負担がかかるような家庭に資金援助をする。
	自分と同世代、又はそれよりも若い子供が家庭を維持するために家事や労働を行っているというのはいかに思う。だから、国家の予算の中にヤングケアラーを支援するための活動資金を組み込んだり(又は増やしたり)、ヤングケアラーの実状を知るための講習会等を全国的に行ったりすべきであると思う。
	ヤングケアラーがしっかり学校に通ったり、充実した生活を送れるようにするためにも、障害者や高齢者に近い介護サービスを受けるための補助金を出すべきだと思います。
	金銭的問題に関しては国が援助し学生は学業に専念させる
	国の団体がお金などで支援する。
	このようなアンケートで、【ヤングケアラー】だという人に対して税金などで支援をしたらいいと思う。
	ヤングケアラーの人に1人につき、1ヶ月25万円の給付金を送ったらいいと思います
	給付金や物資を支給する。
	月〇〇円という金額を決めて給付したらいいと思う。
学校の役割	ヤングケアラーと思われる人に支援金等を送る。
	ヤングケアラーの家庭に支援金などを給付する
	国や県が支援金を配布する
	年金のような支援金を送ったり、介護が必要な人を介護施設に入れるためのお金を国や機関が負担すること。
	特別手当を出す
	気軽に相談できるように学校などに相談所を設置し、そのことを手紙で伝える。
	ヤングケアラーに該当する人のやむおえない学校の欠席は欠席とみなさないようにしたりして、学校側が支援すればいい。
	ヤングケアラーについての手紙を小中学校に出したり、学校の先生に協力してもらって悩んでる人が相談しやすい環境を作ることが必要だと思う
	ヤングケアラーがどのような状況に置かれているか、具体例を挙げ、1日の生活時間をヤングケアラーでない人と比較する。それを学校の授業で取り入れる。それが必要だと思います。
	勉強を少なくしてあげる
具体の支援	学校などで気軽に同年代の人や同じ悩みを持つ人と話せる場があったらよと思う。
	学校でも、定期的にご相談する場を設けたり、相談機関の推奨などに努めることが大切だと思う。
	学校でも広げたりして支援について考えていけばいいと思う。
	学校でヤングケアラーだと思わしき人が相談できるような取り組みをするべき
	実態を把握し、学校に来れない人への学習サポートをもっとしたらいいと思う。ヤングケアラーについて授業で扱ってほしいと思う。
	気軽に相談できなくてため込んでいる子もいると思うし、1人1人の話をきちんと聞く。学校とかでも先生が一人ずつ話を聞いてあげるといいと思う。
	学校側が児童・生徒の状況を把握する。相談しやすい環境を整える。
	残った給食を持ち帰れるようにする。
	学校の先生たちが生徒から相談を受けるときのために、講習会に参加する。
	1人で抱え込まないで、先生などに相談する。また、その相談をしっかり聞いてあげる。
状況把握	どういった取り組みが行われているかもあまりよく分かっていないので、セミナーやパンフレットを学校で見たい。
	もしその子が学生ならその子の担任の先生が気にしてあげたりその子と仲のいい友達が相談をのるなどをすることが大切だと俺は、思います。
	生徒一人一人が楽しく生活できるよう、保護者に呼びかける。
	あまり表に出せないものなので、1ヶ月に一回二者面談をするなどして対応する。
	その子供の親との相談
	家庭状況を見せてもらう
	面談をする。
	家庭訪問を徹底する。
	時々、家庭訪問をする。
	家庭環境をアンケート調査などで少しでも知っておくこと。
ほか支援策	各家庭の理解を深めること
	事前に身の回り人達知ってもらうために面談の回数を増やし状況を聞く(悩みや、自分だけでは、出来ないことなど・・・)
	ヤングケアラーの人たち1人1人に家庭訪問して一緒に手助けしてくれたりすると思う
	訪問をしたりして、より多くのヤングケアラーを見つけて寄り添ってあげる。
	定期的に見回りに行き、困ってることがないか聞く
	定期的にヤングケアラーの様子を見に行き手伝いをする。
	一軒一軒しっかり聞いて安心な世の中にしてい
	ヤングケアラーの人たちでもできる行事を開けばいいと思います。
	アンケートやイベントなどの実施
	ヤングケアラーを体験する企画などやってみたら良いと思います。
やんぐけあらーにそったイラストコンテスト	
ヤングケアラーの人たちの保険を作ればいいと思います。	
ヤングケアラーで困っている人の話を聞く機会を作る	
妊婦さんのマークのようにヤングケアラーのマークも作ればいいと思います。	
相談できるようにヤングケアラー公式ラインをつくる。	
引き取り先を増やす。	
父、母は仕事が長引くため、家の事をすることが多いので、物の値上げ、税金を下げるなどして、家に親がいる時間を増やしてほしいです。	
大人が働けなくお金がないと思うので国からの経済面での支援 その子供の義務教育終えてからの進学希望などに沿ってボランティアや国が支援する必要がある	

必要なこと		
具体的な支援策	親がずっと働いているようなことがないように支援金やそれよりもいい仕事につけるようにすればいいと思う	
	親が早く帰れる環境をつくる	
	・労働基準法を改正する	
	・生活保護基準の設定を低くする(保護を受けやすくする)	
	相談会を開く	
	支援してあげる団体を創る	
	看護師などを定期的に送り込んでみる	
	日本にも、そういった人達が沢山いるので、少しでも楽になれるように支援してほしい。自分も、出来る事はしておきたい。	
	やはり、金と人手が最も必要なのではないか。	
	ヤングケアラーがすこしでもゆっくりできるよう、日用品などの給付をしていけばいいと思う	
	ヤングケアラーのための保障を考えること。	
	国から必要な物資などを送る。	
	食べ物による無料提供	
	ヤングケアラーの人が使えるサービスを増やしたりする。	
	ヤングケアラーのためのボランティアを増やす	
	もっと細かく家庭のことを調べて、その人に真剣に向き合うことが必要だ。その人の立場に立って全力で対処することが大切だ。	
	隠れたヤングケアラーを見つけ出し、適切な支援をする活動を増やしていくべき。	
	何かしらの支援や生活保護などを受ける。	
	障害者施設に関してをもっと呼びかけているんな人から支援や募金をしてもらえば良いと思います。	
	今ヤングケアラーの人に自分がヤングケアラーだという事を実感してもらおう	
	差し入れ	
	食料を配る	
	金銭面のサポートや学習面でのサポートを行う	
	もっと自由な時間時間が必要	
	AIをあげる	
	足を運んでいく店よりアプリなどによる気軽に問い合わせ出来る機能が必要だと思います	
	子供が自分で老人を支えることを心がけていく	
	障害者に目を向けて生活する	
	ヤングケアラーは、お世話されている大人には保険金という形で、お金を手に入れることができるけど、お世話をしている子供には、お金が手に入らないので、そこを改善してほしいです	
	ヤングケアラーと親に対しての心のケアのようなものが必要だと思う。	
	ヤングケアラーについての認知度は高いと思いますので、これからは具体的な支援策を発信していくといいのではないかと思います。	
	大人の役割	安心できる大人が必要だと思います
		大人の人がしっかりやるべきことをやって、子供に何でもかんでもやらせない。
		ヤングケアラーに属している子供たちに家庭教師やいつも学校に来てない人に「困ったことない？」とかを聞いたほうが良いと思います
		大人を頼ろうねって言う
		大人ができることは大人がやる
		身の回りの大人の人が子供の事を気に掛ける
		大人に頼んで色々してもらおう
		大人が積極的に話を聞いてあげる。
		もっと他の大人に相談できるきかいを増やしてほしいです
		身近に話を聞いてくれたり相談に乗ってくれる大人がいると心強いと思う。
		大人のひととくに悩みを相談できるような場所をつくる
		ヤングケアラーの周りにいる大人がいち早く気づいてあげることが必要だと思う。
		もっと大人が頑張る！
		ヤングケアラーをさせないでその人のところに大人を呼ぶ。
		自分がやるようなことではない時は大人に頼る
		その人はどう思うか聞いたほうが良いです。
		自助、共助、公助をしっかりする
問題をもっとしっかりと受け止めて考えてもらう。		
その人にあつたことをする		
人、一人一人のおもいを大切にすること		
ヤングケアラーの意見を取り入れることが必要。		
その人にあつた支援をしてほしい		
支援のあり方		子供が安心できるようにすることが必要だと思う。
		自分がいよいよするのではなくその人が本当にそれを望んでいるかを考えお互いが楽しく生活できるような環境が必要だと思う。
		みんなの意見を広く聞いてあげること。
		相談することやアンケートへの回答だけでもハードルが高いということを支援をだす人が知っておくこと
		ヤングケアラーの子供たちが安心して、幸せに暮らせる社会にできるようにしたい。
	大人がやるべきことを子供がやらなければならないような環境をなくす事	
	ヤングケアラーの問題は深刻に考えた方がいいと思います。ずっとやっていることで勉強出来ないのは子供の未来をなくすように感じたからです。	
	ヤングケアラーの人が、家族の世話をどう思っているのかを受け止めそこからどうするかを考えることが必要だと思います。	
	自分はヤングケアラーだということを周りに知られたくない人をどのように支援するのかをちゃんとしたほうが良いと思う。ヤングケアラーということが周りに広がったらいじめが起きるかもしれない(お前の母ちゃん障害者！みたいな)	

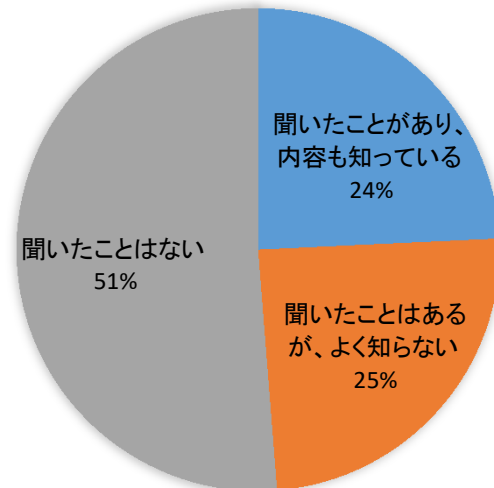
その他	
その他	こどもの意味を大人に教える！
	親の役割、子供の役割を区別する
	政府がもっとヤングケアラーを知ればいい
	子供が不自由なく過ごせる社会にしてほしい。
	みんなが平等に生き生きとした生活を送ることができるようにしたい。
	素直にヤングケアラーといえる環境と支援ができればいいと思う。
	家族という集団への考えの見直し
	こういう質問は不登校の人に聞くべきだと思う
	ただただ話を聞いてくれるだけでいい。でも、アドバイスが欲しいわけじゃないので、傷つくことはしないでほしい。保護者会など、親が、来れる気分の時と、そうでないときがあるので、そこは配慮してほしい。
	どうしても介護等が必要になり、ヤングケアラーをせざるを得ない状況にいる人たちに伝えたい、僕の考えはただ一つです、それは、ヤングケアラーをしている人たちにも休みを与えてあげてください。
	今後どのようにして生活すればいいんだと頭を抱えて不安になっている人にも少しだけでもいいから、休みを与えてあげてください。そうしないと、身の回りに相談する人が誰もいない場合、疲労とストレスで、自ら命を絶ってしまうリスクがあります。僕からはそれだけです。
	親の手伝いをするのはいい事だけれど、自分の時間を削ってまでやるのはダメだから無理をしないでやって欲しいです。
	子供だけにヤングケアラーについてを言われても、親に逆らえない子供も多いと思う。
	その人のがヤングケアラーということが極力周りに知られないようにひっそりと行動してほしい。
	ヤングケアラーが、ヤングケアラーであることを訴えやすい環境にすればよいと思う。周りにいるかどうかかわらないので、もし自分がヤングケアラーだった場合、相談したくてもできないと思う。だから、ヤングケアラーという主張をできて、他にも同じ人がいることを知れたほうが心に少なからず安心感が生まれるのではないだろうか。
	少子高齢化が進んでいるなかで子供が大人の世話をするというとても勇気いることだと思います。ヤングケアラーの支援を僕もできるかぎり応援していきたいと思いました。
	今回のアンケートのように学校のこうした機会にヤングケアラーを知りたいと思う人が増えてくると思う。
	国が支援するべきだが、実態調査が難しいのであまり現実的ではない。別に、いままで「ヤングケアラー」が問題になるまでうまくいったので、別にすることははないと思われる。
	この先の未来を自分の家族、親族のお世話などで失って欲しくない。自分の人生を真っ当に生きていくためにこの世界から自分の未来を失うようなことがなくなっていければいいなと思います
	気づかないところにヤングケアラーがいるかもしれないので全面的にできるだけ数の家を調査し、見つかったらそのヤングケアラーに物資や助けを差し伸べてあげれば良いと思います。これからもヤングケアラーの子供たちを救ってください。応援しています。
	これからも苦しいことがあるかもしれないけれども、頑張ってください。応援しています。
	ヤングケアラーについてよくわかんないけど頑張ってください
	支援を広げてください。
まだまだヤングケアラーの人への支援が足りないと思います。	
手伝いすることはだいじ	
代わって行うとはここでいうとどの範囲からでしょうか？もう少し具体例があるとわかりやすくなると思います。	

調査結果 (高校生)

1 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。1つ選んでください。

- ア 聞いたことがあります、内容も知っている
- イ 聞いたことはあるが、よく知らない
- ウ 聞いたことはない

1 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか(N=915)

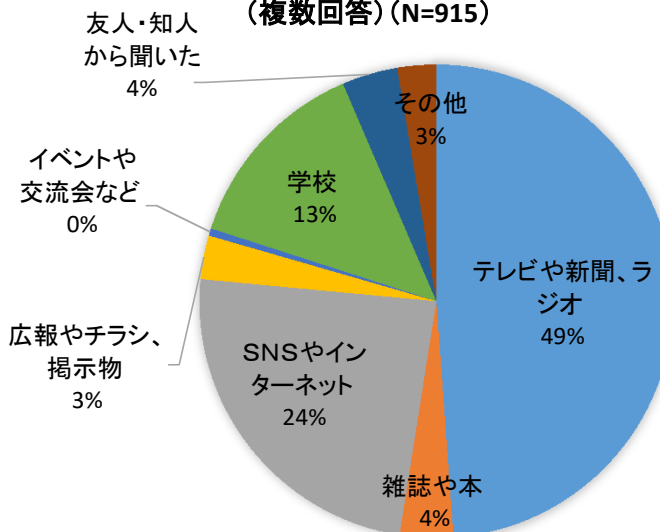


2 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。

あてはまるものをいくつでも選んでください。

- ア テレビや新聞、ラジオ
- イ 雑誌や本
- ウ SNSやインターネット
- エ 広報やチラシ、掲示物
- オ イベントや交流会など
- カ 学校
- キ 友人・知人から聞いた
- ク その他

2 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったか (複数回答)(N=915)



その他
 ・カウンセラー
 ・YouTube
 ・家族、親
 ・小論文のテーマ など

3 あなたが大人に代わって行っている家事や労働はありますか。

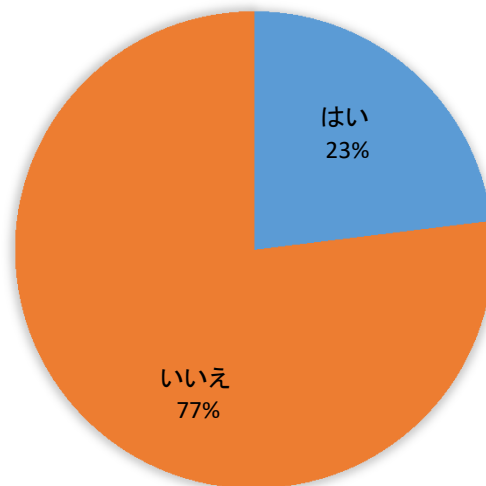
ア はい

→4に進み、続けてアンケートに回答してください。

イ いいえ

→4～6に回答せず、7に進んでください。

3 大人に代わって行っている 家事や労働はあるか(N=915)



4 あなたが大人に代わって行っている家事や労働は何ですか。

あてはまるものをいくつでも選んでください。

ア 買い物

イ 食事の準備、料理

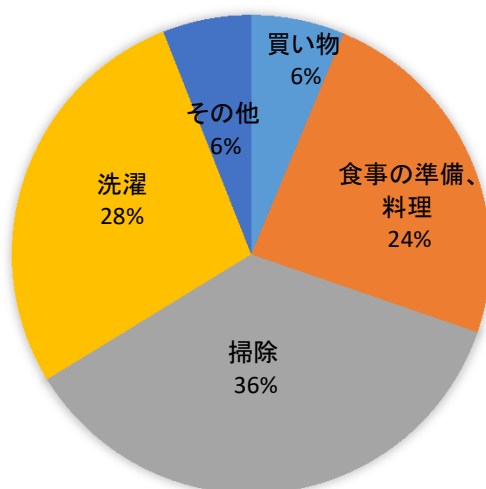
ウ 掃除

エ 洗濯

オ その他

その他 ・ゴミ捨て ・食器洗い ・バイト など

4 行っている家事や労働は何か(複数回答) (N=211)

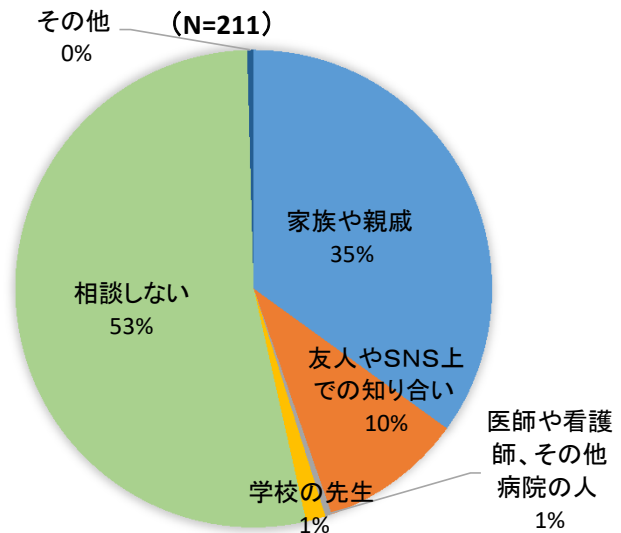


5 家事や労働のことを誰に相談しますか。
 あてはまるものをいくつでも選んでください。

- ア 家族や親戚
- イ 友人やSNS上での知り合い
- ウ 医師や看護師、その他病院の人
- エ 学校の先生
- オ ヘルパーさんなど、その他の人
- カ 相談しない
- キ その他

その他
・寮の方

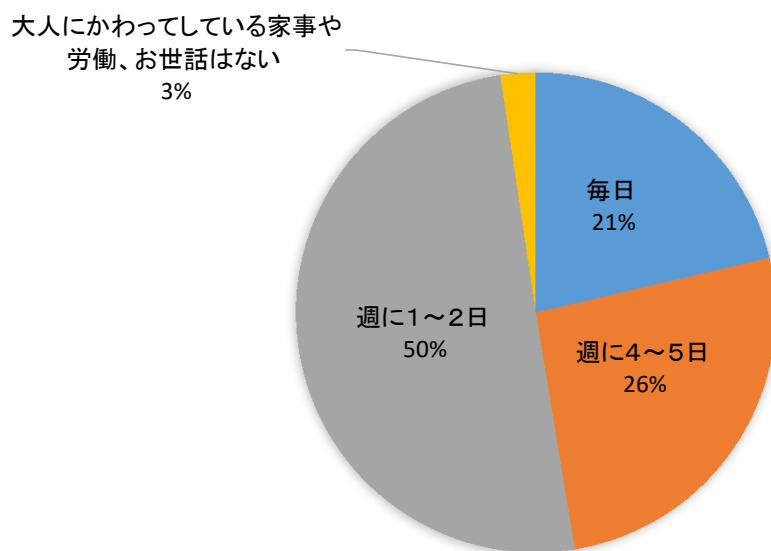
5 家事や労働のことを誰に相談するか(複数回答)



6 あなたが大人にかわってしている家事や労働合わせてどのくらいありますか。
 もっとも近いものを一つ選んでください。

- ア 毎日
- イ 週に4～5日
- ウ 週に1～2日
- エ 大人にかわってしている家事や労働はない

6 家事や労働はあわせてどのくらいか(N=211)



7 あなたが大人に代わって行っている世話はありますか。

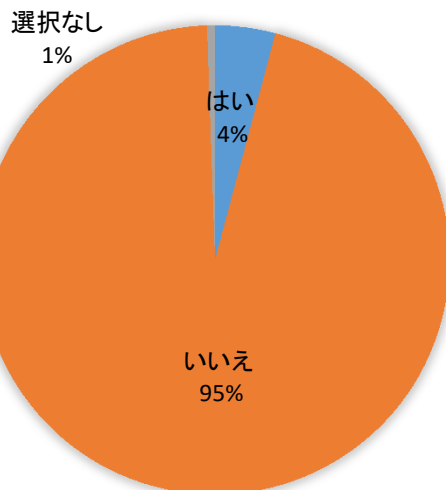
ア はい

→8に進み、続けてアンケートに回答してください。

イ いいえ

→8～15に回答せず、16に進んでください。

7 大人に代わって行っている世話はあるか(N=915)



8 あなたが大人に代わって行っている世話は何ですか。

あてはまるものをいくつでも選んでください。

ア きょうだいの世話や保育所等への送迎

イ 入浴やトイレのお世話など

ウ 外出の付き添い

(買い物、散歩など)

エ 通院の付き添い

オ 愚痴を聞く、話し相手になるなど

カ 見守り

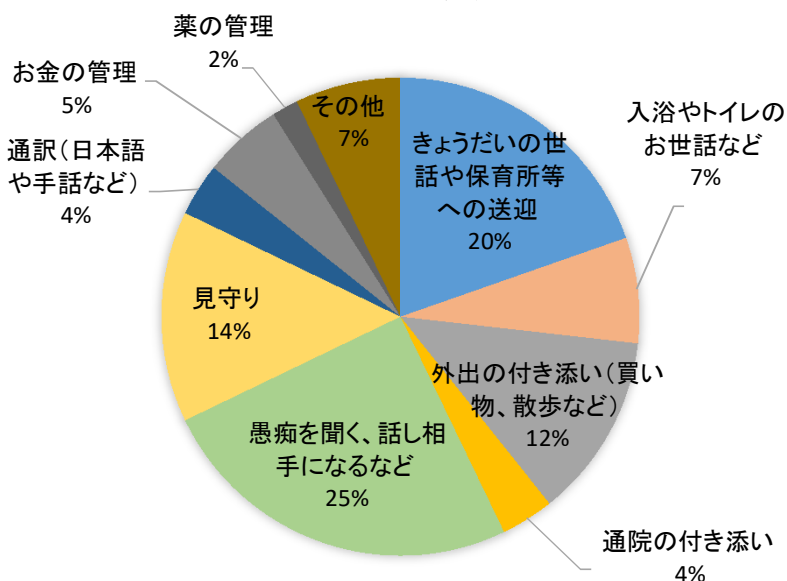
キ 通訳 (日本語や手話など)

ク お金の管理

ケ 薬の管理

コ その他

8 行っている世話は何か(複数回答)(N=38)



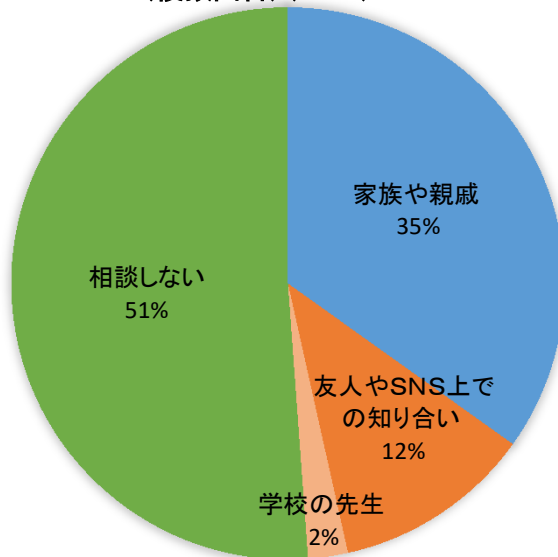
その他

- ・認知症の祖母
- ・ペットの世話 など

9 お世話している家族のことを誰に相談しますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

- ア 家族や親戚
- イ 友人やSNS上での知り合い
- ウ 医師や看護師、その他病院の人
- エ 学校の先生
- オ ヘルパーさんなど、その他の人
- カ 相談しない
- キ その他

9 お世話している家族のことを誰に相談するか
(複数回答)(N=38)

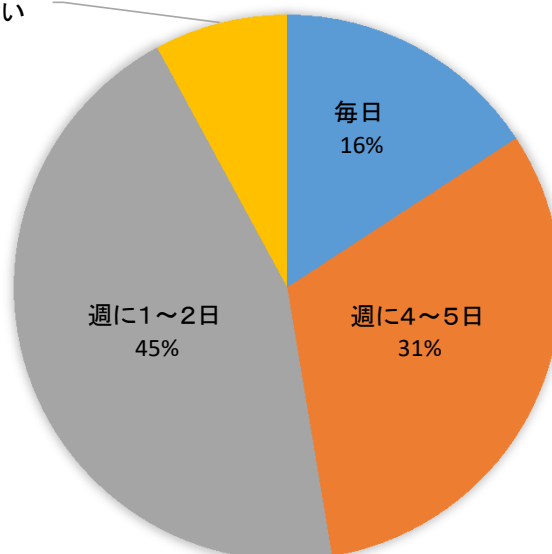


10 あなたが大人にかわってしている世話は合わせてどのくらいありますか。もっとも近いものを一つ選んでください。

- ア 毎日
- イ 週に4～5日
- ウ 週に1～2日
- エ 大人にかわってしている世話はない

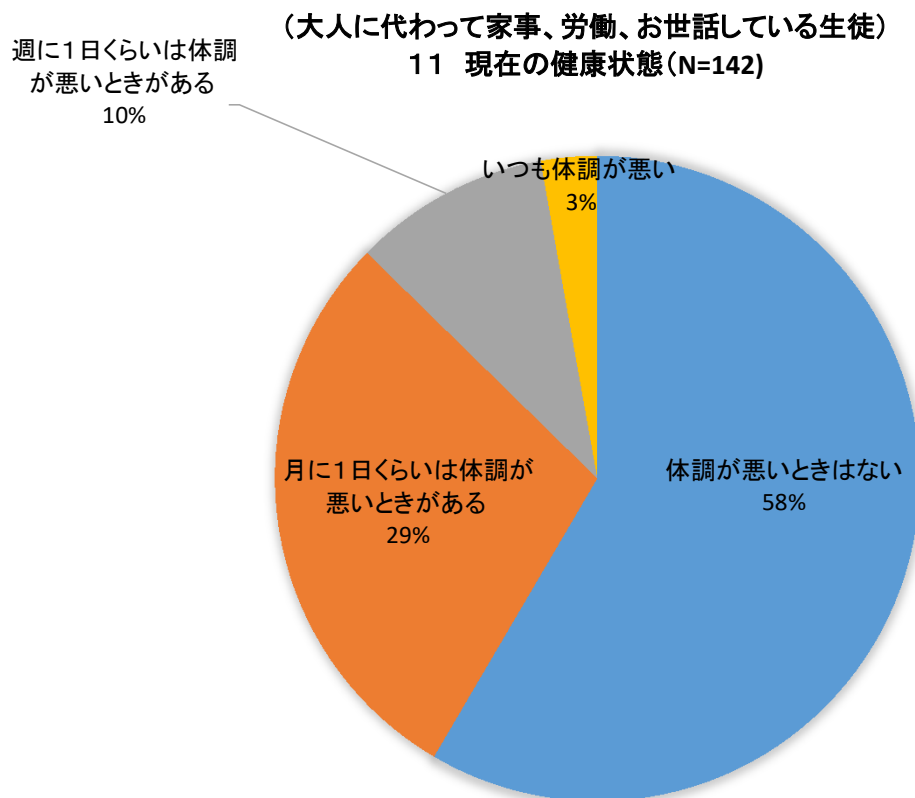
10 世話は合わせてどのくらいか(N=38)

大人にかわってしている家事
や労働、お世話はない
8%



11 あなたの現在の健康状態について、一つ選んでください。

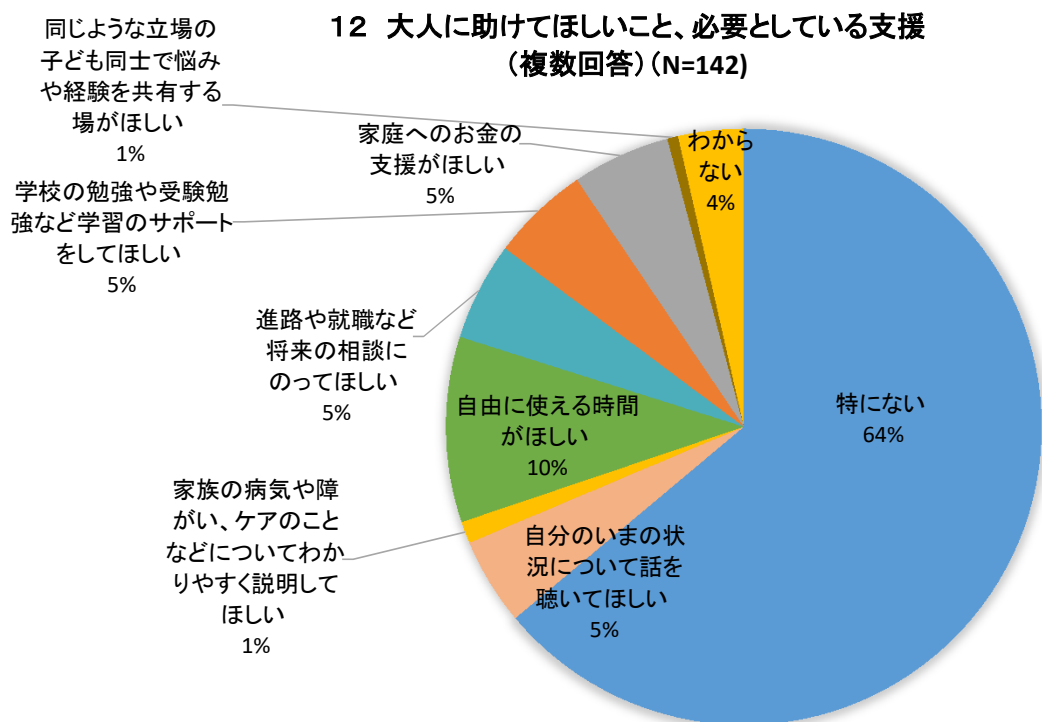
- ア 体調が悪いときはない
- イ 月に1日くらいは体調が悪いときがある
- ウ 週に1日くらいは体調が悪いときがある
- エ いつも体調が悪い



12 学校や周りの大人に助けてほしいこと、必要としている支援は何ですか。

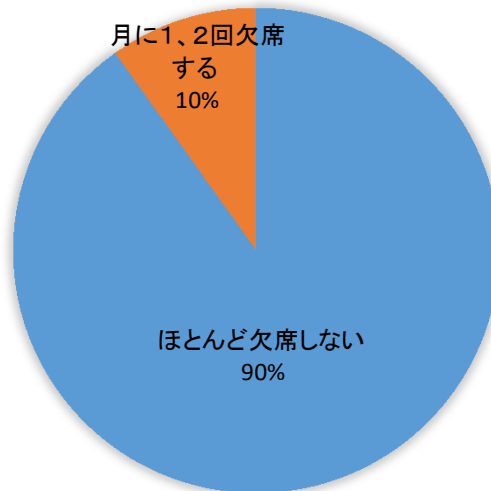
あてはまるものをいくつでも選んでください。

- ア 特にない
- イ 自分のいまの状況について話を聞いてほしい
- ウ 家族のお世話について相談にのってほしい
- エ 家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい
- オ 自分が行っているお世話を代わってくれる人やサービスがほしい
- カ 自由に使える時間がほしい
- キ 進路や就職など将来の相談にのってほしい
- ク 学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい
- ケ 家庭へのお金の支援がほしい
- コ 同じような立場の子ども同士で悩みや経験を共有する場がほしい
- サ わからない
- シ その他



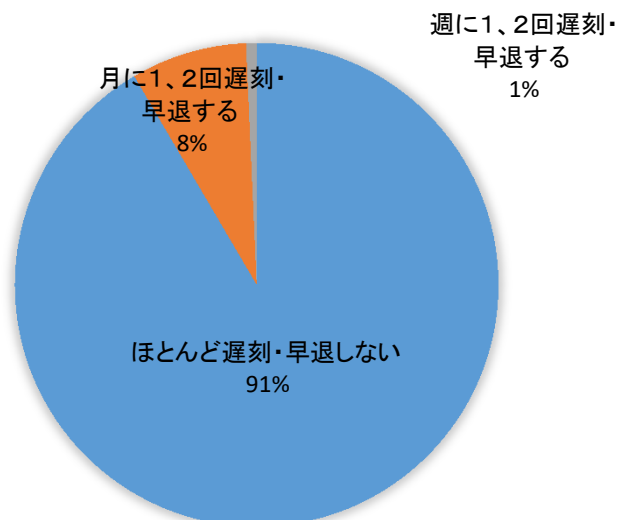
- 13 あなたは、学校をどのくらい欠席することがありますか。
 あなたの状況にもっとも近いものを1つ選んでください。
- ア ほとんど欠席しない
 - イ 月に1、2回欠席する
 - ウ 週に1、2回欠席する
 - エ ほとんど欠席していない

13 欠席状況(N=142)



- 14 あなたは、学校で遅刻や早退することはありますか。
 あなたの状況にもっとも近いものを1つ選んでください。
- ア ほとんど遅刻・早退しない
 - イ 月に1、2回遅刻・早退する
 - ウ 週に1、2回遅刻・早退する
 - エ ほぼ毎日遅刻・早退する

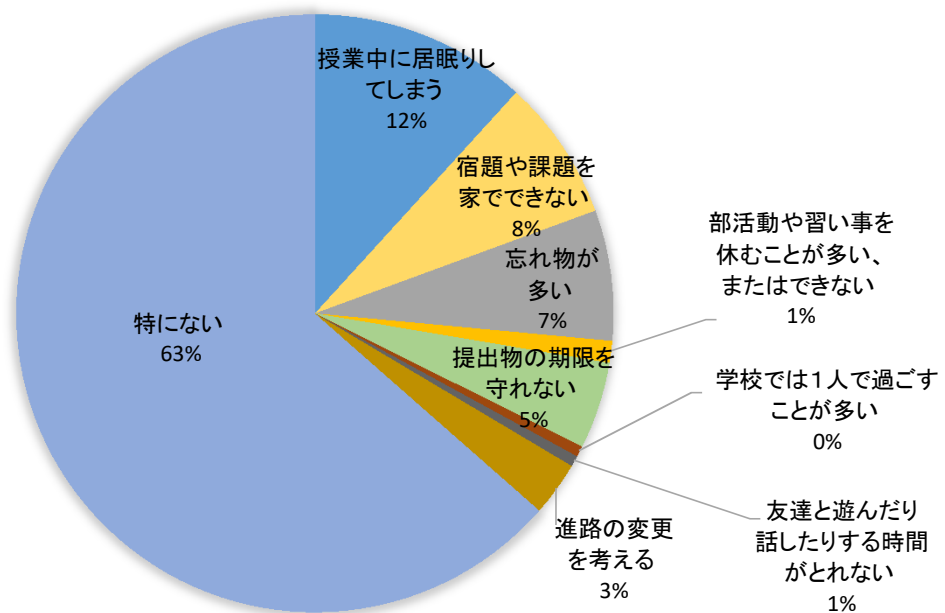
14 遅刻や早退の状況(N=142)



15 あなた自身の学校生活において、家事、労働、お世話をするのが原因だと思うものが以下の項目にありますか。いくつ選んでもかまいません。

- ア 授業中に居眠りしてしまう
- イ 宿題や課題を家でできない
- ウ 忘れ物が多い
- エ 部活動や習い事を休むことが多い、またはできない
- オ 提出物の期限を守れない
- カ 修学旅行などの宿泊行事を欠席しなければならない
- キ 体調が悪く保健室で過ごすことが多い
- ク 学校では1人で過ごすことが多い
- ケ 友達と遊んだり話したりする時間がとれない
- コ 進路の変更を考える
- サ 特にない

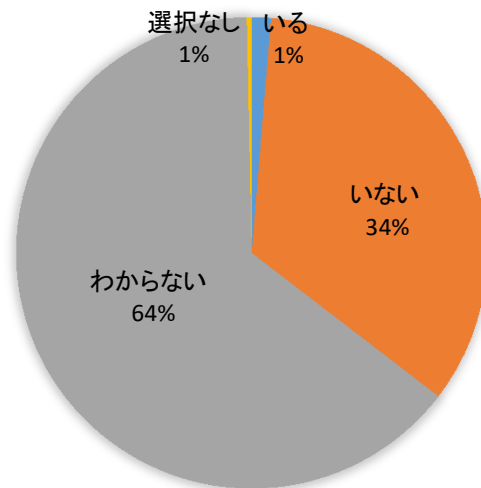
15 家事、労働、お世話することが原因と思うもの(複数回答)(N=142)



16 あなたの周りに「ヤングケアラー」にあてはまる人はいますか。

- ア いる
- イ いない
- ウ わからない

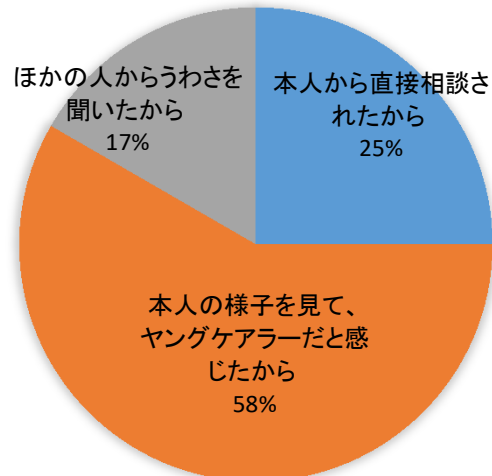
16 周りに「ヤングケアラー」はいるか(N=915)



17 「いる」と答えた理由はなんですか。1つ答えてください。

- ア 本人から直接相談されたから
- イ 本人の様子を見て、ヤングケアラーだと感じたから
- ウ ほかの人からうわさを聞いたから

17 「いる」と答えた理由(N=12)

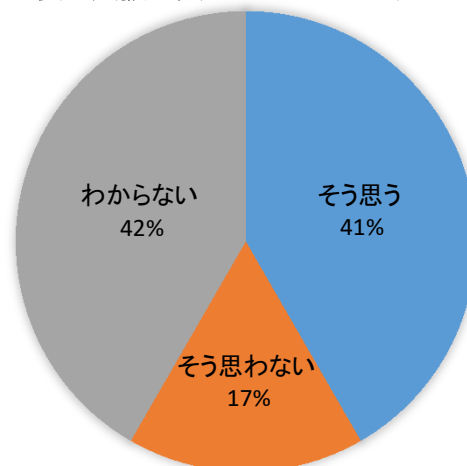


18 あなたが「ヤングケアラー」だと思った人について聞きます。

その人は、必要な支援が受けられていると思いますか。1つ選んでください。

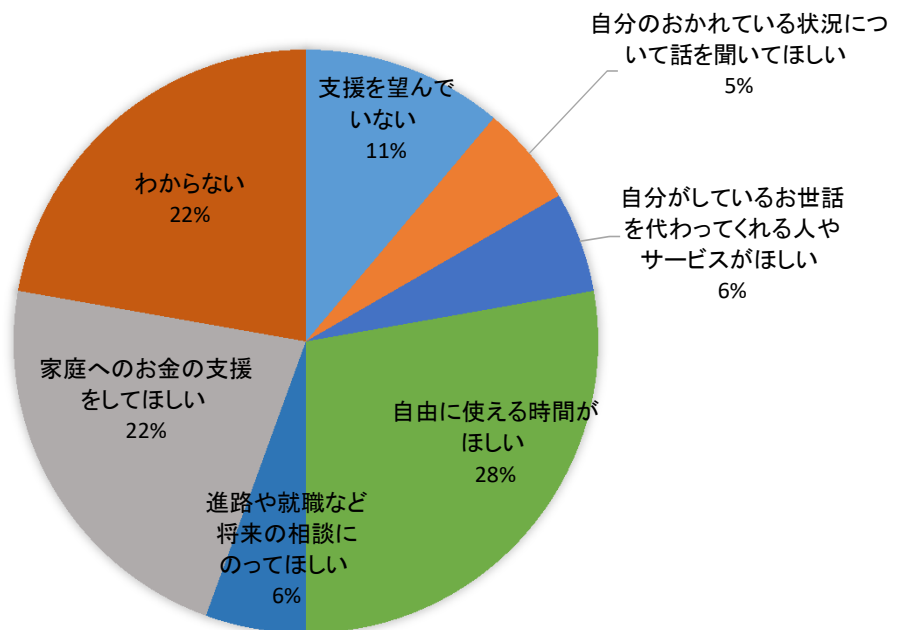
- ア そう思う
- イ そう思わない
- ウ わからない

18 ヤングケアラーだと思った人は必要な支援が受けられているか(N=12)



- 19 あなたが「ヤングケアラー」だと思った人は、どんな支援を望んでいると思いますか。
 あてはまるものをすべて選んでください。
- ア 支援を望んでいない
 - イ 自分のおかれている状況について話を聞いてほしい
 - ウ 家族のお世話について相談にのってほしい
 - エ 家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明をしてほしい
 - オ 自分がしているお世話を代わってくれる人やサービスがほしい
 - カ 自由に使える時間がほしい
 - キ 進路や就職など将来の相談にのってほしい
 - ク 学習のサポートをしてほしい
 - ケ 家庭へのお金の支援をしてほしい
 - コ 同じような立場の子どもどうして悩みや経験を共有する場がほしい
 - サ わからない
 - シ その他

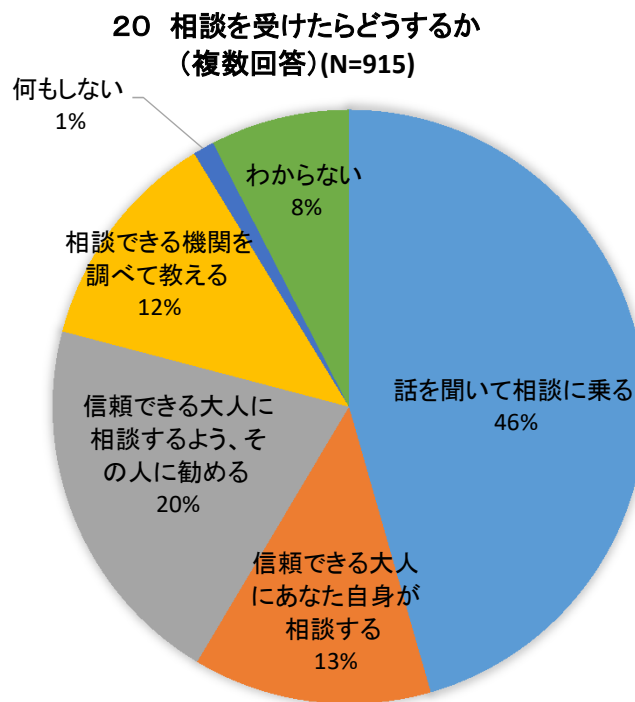
19 ヤングケアラーだと思った人がどんな支援を望んでいると思うか
 (複数回答)(N=12)



20 「ヤングケアラー」と思われる人から相談を受けたら、どうしますか。

あてはまるものを選んでください。(いくつでも)

- ア 話を聞いて相談に乗る
- イ 信頼できる大人にあなた自身が相談する
- ウ 信頼できる大人に相談するよう、その人に勧める
- エ 相談できる機関を調べて教える
- オ 何もしない
- カ わからない



21 ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要なことや要望等があれば記入してください。（自由記載） 注）回答のあった原文のまま掲載しています。

周知啓発	
「ヤングケアラー」を広く知ってもらう	よりみんなにわかってほしい
	僕はヤングケアラーの存在をしらなかったのもっとPRしたらいい
	ヤングケアラーについてみんなが知ることが重要だと思う。
	大人に言うヤングケアラーについて知ってもらう
	ヤングケアラーという言葉自体を私たち若者世代へと周知させる必要がある。
	自然とやっているうちに自身がヤングケアラーだと気付かずに過ごしているパターンもあると思うから、まずはヤングケアラーとは何なのかをたくさんの人に知ってもらうことが必要だと思います。
	ヤングケアラーについて知ってもらい、そのような人を助けるためにCMなどで広める。
	アンケートや、呼びかけなど、講話会などでヤングケアラーについていろんな人が知っていく必要がある。
	みんなが共通理解できるよう、ヤングケアラーのこについて知れる機会をつくる。
	ヤングケアラーがどういうものか詳しく知る。
	ヤングケアラーについてたくさんの人に知ってもらう
	ヤングケアラーという人がいることをもっと公表する必要があると思う
	たくさんの人がヤングケアラーについて知り、些細なところで一人一つは支援をする。
	周りの人たちが理解するために説明していく必要があると思う。行っていること、何時間など細かく知る必要がある。
	もっとヤングケアラーについての情報、実態など現状を社会全体に広めることが必要
	ヤングケアラーのこをもっと広めるべき
	ポスターなど学校や公共の場など人がいるところに貼る
	ヤングケアラーへの理解をもっと広げる
	まだまだ全くヤングケアラー知らない人がいると思うので広めていく活動をもっとするべきだと思う
私は、これまでヤングケアラーという言葉聞いたことがありませんでした。世の中には、相談したくてもできない人や、私のようにヤングケアラーというものがあると知らずに大きな負担を抱えている人がいるかもしれません。もっとこの言葉の知名度を上げてほしいと思いました。	
「ヤングケアラー」の周知方法	ポスターなどを増やす。
	ポスターやテレビ
	CMなどで呼びかけをする
	ポスターなどで呼び掛ける
	CMや広告でヤングケアラーへの支援を流す
	テレビや新聞などを通してもっと広げていけばいいなと思いました。
	情報を広げていく
	講座を行う
	新聞やニュースで取り上げる。
	ネットなどで拡散する
	多くの人の目に入るようチラシを配る
	みんなが見るようなネット記事で広めたり目につくようなニュースにすること
	ACジャパンのようにCMなどで広めるのは大切だと思う
ヤングケアラーについて新聞やニュースに取り上げてもらう	
チラシなどを使ってみんなに知らせる	
学校の取組	授業でヤングケアラーを取り上げる
	学校などで知ってもらう会などを開く
	学校で全校生徒にヤングケアラーについての紙などを配るようにする
	ヤングケアラーについての授業を行う
	学校などでヤングケアラーの授業を高校の授業などにとり入れる
	学校で授業を行う
アンケート	各学校にプリントを配布する。
	学校での講話など
	実施
実施	定期的に今回のアンケートなどを実施する。
	定期的に今回のアンケートなどを実施する。
	定期的にこのようなアンケートを実施する。

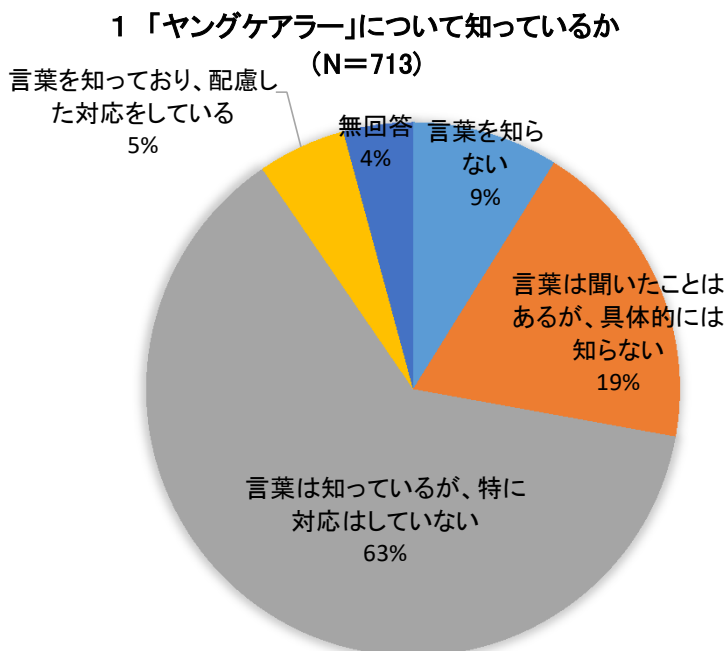
必要なこと	
相談体制	ヤングケアラーがその仕事を好んでやっていたとしても、余裕がなくなってきたときいつでも相談できるように支援などの面だけでなく周りへヤングケアラーについて広めて、お互いに頼りやすい環境づくりが大切。
	必要な時に誰でも支援できるような取り組みを作ったほうが良い。
	ボランティア活動の実施
	困っていたらすぐに助けてもらえる機関や相談する機関が必要だと思う。
	ヤングケアラーについてネットを使ってより広めて、困っている人が相談できる場所を身近に増やす。
	周りの大人が相談に乗ってくれる態度を示す。
	ヤングケアラーについてもっと知ることで、相談された時に話を聞いてあげることができるようにする。
	学校で一人一人に先生が尋ねる。
	学校などにヤングケアラーの人たちが相談しやすい環境を作ることだと思います。
	相談所のようなものを作れば良いと思う。
	相談しやすい環境を作っていくこと。
	支援のところにすぐ相談する。
	子供が言い出しやすい環境を作る
	もっと子供の意見を尊重して欲しい
何でも相談できる環境作りをすること。	
ヤングケアラーの問い合わせを電話だけでなく、LINE等のSNSなどを活用して相談のハードルを下げ、誰もが気軽に問い合わせができるような環境を整えていただきたい。	
支援体制・方法	自分ができうる限りのことをする。
	一人で抱え込まない
	一人で抱え込まない
	効率よく進めるために人手と時間が必要だとおもう
	もっと相談しやすい社会にする
	ヤングケアラーが少いで楽になるよう助ける活動をつくる。
	ヤングケアラーが自分の時間を確保できるように、ヤングケアラーの仕事を代行してくれるサービスをつくる
	ヤングケアラーが誰なのかという把握とその人たちへの支援金や保護・手助け
	親を失ったり家庭環境が悪い家庭をもっとしっかり支援して欲しい
	家庭の事情をくわしく知ってもらう
	自宅訪問などする
学校を何日間か休んで働くことができるようにする。理解を広げる。	
無料の支援活動など、その人の家計の負担にならないようなサービスを提供したり、講話会を開くなどして広い世代にこの実態を理解してもらうことが必要だと思う。	
金銭的援助	支援金
	資金の補助
	ヤングケアラーへの支援金
	支援金を送る
	募金活動をして寄付金をすべしと思います
	家族への支援などを増やしたらいいと思うその支援のお金も高くせず、値段は無料や安くするなど負担にならないぐらいがいいと思う
	お金を援助するしかないと思います
お金などの支援が必要だと思います。	
自治体	市区町村、県や国から物資、募金などで資金などの提供を行うと良いと思う。
	政府の臨機応変な支援
	税金をいっぱい使ってください
	家政婦や使用人の雇用を国営にして安く雇わせる。またはボランティアなどの協力を求める
各自自治体をもっと支援する	
施設整備	介護施設を多く作る
	安い誰でも入ることのできる施設を作っていく
	施設を準備して、支えてあげる環境をつくる。
	老人ホームを増やしたり少しでもヤングケアラーが減る対策をしていくべきだと思う
周知・理解	身近に相談できる場所があることを広く知ってもらう
	支援制度や資金援助の存在をもっと知ってもらう必要がある
	講習会などを開いて、ヤングケアラーがいるということをみんなに知ってもらい、普段の生活でどこが大変なのか説明して理解を深めていったらいいのではないかと思います。
	相談できる機関のポスターなどを掲示する
	家族で支えあって生きていくことが大切だと思うので、家事を楽にできるようにしたり、もっとヤングケアラーの調査を行い、家族や周りの人にヤングケアラーについて理解を深めてほしい。
一人一人がヤングケアラーへの理解を深め、寄り添っていくことが大事。ヤングケアラーの中には虐待されている人もいるのかなと思ったので、ヤングケアラーの実態をもう少し詳しく調査するべきだと思う。	

その他	
その他	障がいのある方への対応は、本当に大変な時があると思いますが少しでも負担が減らせる事ができたらな、と思いました。障がいを持っている相手は本当に助かっていると思うので、つらい事が多いと思いますが相手の命を守る行動だと思っ て がんばってほしいな…と思います。
	障害者に対して今よりも確かな支援を行うべきだと思います。
	障害などについて一人一人がより理解することが大切。
	ヤングケアラーがどのラインまでそう当てはまるのかもう少し明確な線引きが欲しい例) 兄弟の世話の量
	社会福祉士になりたい
	ブラック企業の見直しをして、大人が家にいられる時間を長くしてほしいです。 出来るだけ周りの大人たちと関わらずにヤングケアラーを減らしていくべきだ。

調査結果 (関係機関)

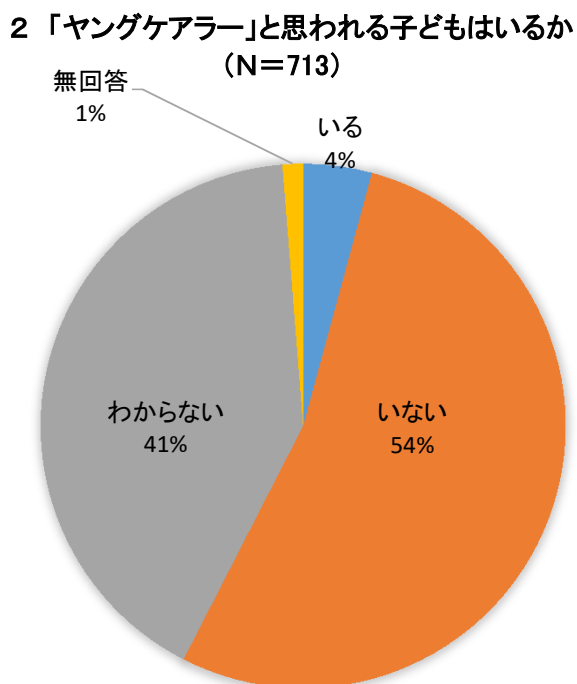
1 「ヤングケアラー」について知っていますか。1つ選んでください。

- ア 言葉を知らない
- イ 言葉は聞いたことがあるが、具体的には知らない
- ウ 言葉は知っているが、特に対応はしていない
- エ 言葉を知っており、配慮した対応をしている



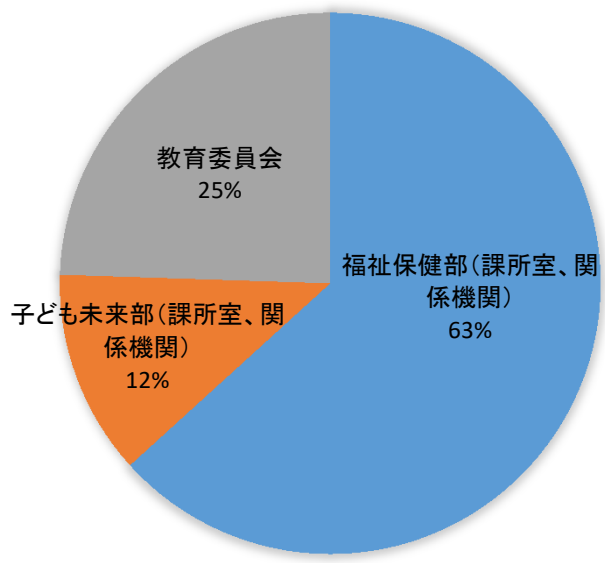
2 現在関わりのある支援対象家庭または学校に、「ヤングケアラー」と思われる（可能性も含めて）子どもはいますか

- ア いる
- イ いない
- ウ わからない



3 (「いる」と回答した人は) 把握しているヤングケアラーの人数を教えてください。

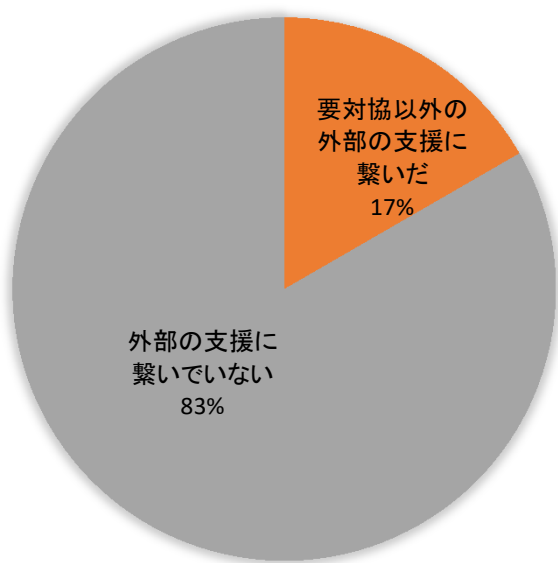
3 把握しているヤングケアラーの人数 (N=30)



4 (2で「いる」と回答した人は) ヤングケアラーと思われる(可能性も含めて)子どもについて、具体的に外部の支援に繋がったケースはありますか。一つ選んでください。

- ア 要対協に通告
- イ 要対協以外の外部の支援に繋がった
- ウ 外部の支援に繋がっていない

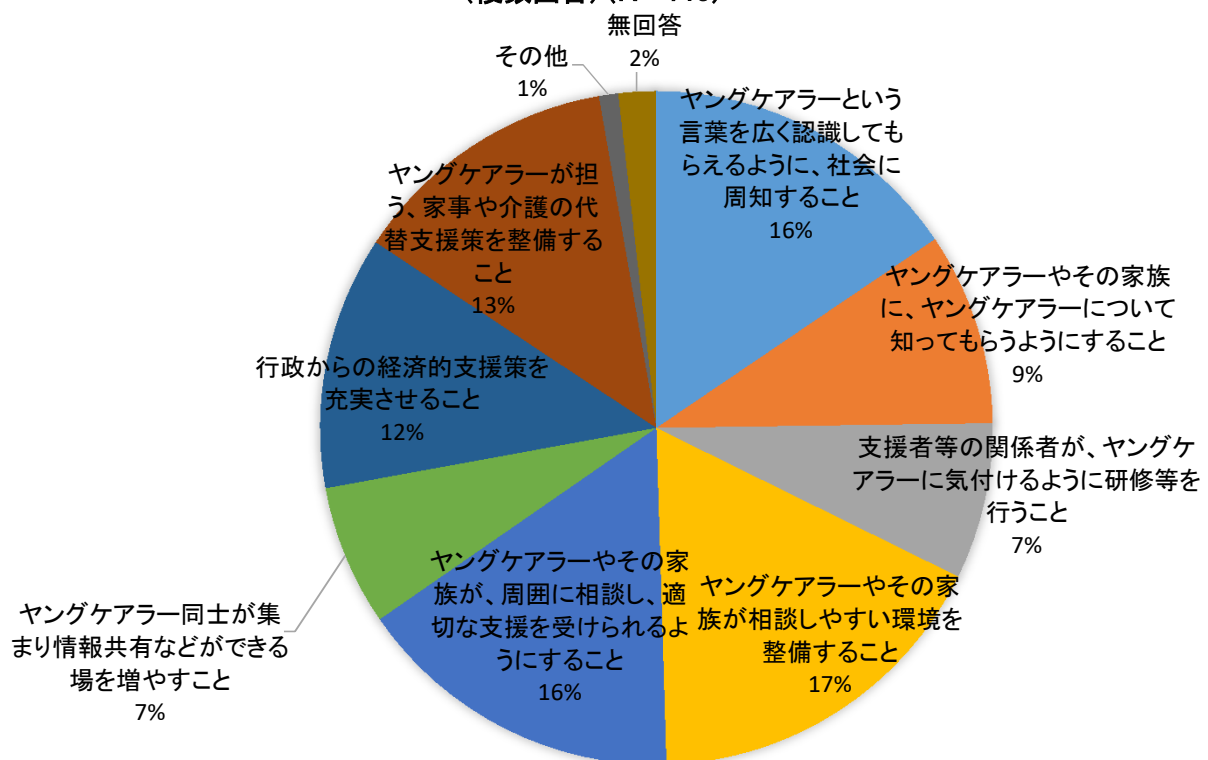
4 ヤングケアラーと思われる子どもを 外部の支援に繋がったか(N=30)



5 ヤングケアラーを支援するために必要だと思うことについて、あてはまるものをいくつでも選んでください。

- ア ヤングケアラーという言葉を広く認識してもらえるように社会に周知すること
- イ ヤングケアラーやその家族に、ヤングケアラーについて知ってもらうようにすること
- ウ 支援者等の関係者が、ヤングケアラーに気づけるように研修等を行うこと
- エ ヤングケアラーやその家族が、周囲に相談し、適切な支援を受けられるようにすること
- オ ヤングケアラー同士が集まり、情報共有などができる場を増やすこと
- カ 行政からの経済的支援策を充実させること
- キ ヤングケアラーが担う家事や介護の代替支援策を整備すること
- ク その他

5 ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと
(複数回答)(N=713)



参考資料

ヤングケアラー調査実施要項

令和4年4月14日
秋田市子ども未来センター

1 目的

ヤングケアラーと思われる子どもを早急に発見し、支援につなげる。

※ ヤングケアラーとは「本来大人が担うとされている家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の子ども」のこと。

2 実施対象について

(1) 市立中学校、市立高等学校、美大附属高等学院の全生徒

(2) 以下の支援者

各学校の養護教諭等、相談支援員、民生児童委員、主任児童委員、基幹相談支援センター、居宅介護事業所、地域包括支援センター、生活保護ケースワーカー、秋田市生きる支援ネットワーク所属団体、子どもの未来応援ネットワーク会議所属団体、子ども食堂等実施団体

3 実施方法について

(1) タブレット

① 2(1)については原則としてタブレットで実施

② 諸事情によりタブレットが使用できない場合は以下の(2)か(3)で実施

③ 2(2)については以下の(2)か(3)で実施

(2) インターネット

(3) 調査票

4 実施時期について

令和4年6月から7月中旬まで

5 集計について

(1) 令和4年7月末までに、調査結果を子ども未来センターに集約

(2) 取りまとめ方法について

① 2 実施対象の(1)については、学校教育課がとりまとめ、子ども未来センターに送付

② 同(2)については、以下のとおり

ア 各学校の養護教諭等については、学校教育課がとりまとめ、子ども未来センターに送付

イ その他支援者については、関係課所室がとりまとめ、子ども未来センターに送付、もしくは支援団体等から直接子ども未来センターに送付

(3) 秋田市におけるヤングケアラーの人数は、子ども未来センターの受理会議に諮り、要保護児童、要支援児童として受理した件数とする。

6 公表について

(1) 時期

令和4年10月以降

(2) 方法

ホームページ、広報あきた、市政記者クラブへの投げ込み